

飯豊町地域安全克雪方針

資料編

第2版 令和6年3月

飯 豊 町

1. 令和4年度の試行事業 豪雪地帯安全確保緊急対策交付金

1-1 安全・安心な雪国暮らしシンポジウム～雪かきで地域が育つ～

【開催概要】

開催日時：令和4年11月5日（土）13：30～15：30

会場：飯豊町民総合センター「あ～す」多目的ホール

参加者：約50名

基調講演：「雪かきで地域が育つ」

講師 長岡技術科学大学大学院 上村 靖司 教授

パネルディスカッション：「共同で創る雪国暮らしと課題」

コメンテーター：上村靖司氏

コーディネーター：克雪体制づくりアドバイザー 二藤部久三氏

パネラー：NPO法人まちづくり大石田（大石田町）理事長 齋藤忠雄氏、
一般社団法人アップランド（朝日町）代表 今井一彦氏、
NPO法人まちづくりいいで（飯豊町）理事長 鈴木孝氏、
副理事長 井上勝見氏、
西置賜行政組合消防本部総務課長 鈴木浩一郎氏

安全・安心な雪国暮らしシンポジウム
～雪かきで地域が育つ～

令和4年
11月5日(土)13:30～15:30
会場：飯豊町民総合センター「あ～す」多目的ホール

入場無料

豪雪地帯である飯豊町の暮らして避けられない冬の除排雪。人口減少・少子高齢化による除排雪の担い手の減少に伴い、高齢者による除排雪時の事故が年々増加しています。共助による除排雪体制の整備、除排雪時の安全対策等について、地域ぐるみで考えてみませんか。

基調講演
「雪かきで地域が育つ」
講師 長岡技術科学大学大学院 教授 上村 靖司 氏
1966年新潟県生まれ。専門は雪氷工学。越後雪かき道場®代表、NPO中越防災フロンティア理事、中越メモリアル回廊川口さずな館館長など、防災土講演など防災関係の講演多数。著書は「雪かきで地域が育つ」(コムス)「中越地帯から3800日」(ぎょうせい)など。

パネルディスカッション
「共同で創る雪国暮らしと課題」
コメンテーター 上村靖司 氏
コーディネーター 克雪体制づくりアドバイザー 二藤部 久三 氏

パネラー
NPO法人まちづくり大石田（大石田町）
理事長 齋藤 忠雄 氏
一般社団法人アップランド（朝日町）
代 表 今井 一彦 氏
NPO法人まちづくりいいで（飯豊町）
理事長 鈴木 孝 氏
副理事長 井上 勝見 氏
西置賜行政組合 消防本部
総務課長 鈴木 浩一郎 氏

*参加にあたっては、新型コロナウイルスの感染防止対策（マスク・消毒等）にご協力ください。
*シンポジウム当日に発熱・咳・喉の痛みなど体調が悪化する場合はご来場をご遠慮ください。

参加希望の方は下記担当までご連絡ください。
飯豊町役場企画課総合政策室
TEL：0238-87-0521 / FAX：0238-72-3827
Mail：i-seisaku@town.iide.yamagata.jp



1-2 ハンドガイド型除雪機の貸し出し

町で購入したハンドガイド1台をNPO法人まちづくりいいでに貸し出しを行った。

- ・規格：ディーゼルエンジン、歩行型 25ps
- ・地域支え合い除雪事業の1団体として宅道除雪を実施
- ・その他共助組織としての除雪に使用



1-3 除排雪安全講習会 安全・安心な除排雪を学ぼう

【開催概要】

開催日時：令和5年3月5日（日）13:30～15:30

会場：中津川地区公民館

講師：克雪体制づくりアドバイザー 二藤部久三氏

内容：安全装備の装着方法やはしごの転倒対策、除雪機使用時の注意点

開催します!


除排雪安全講習会
安全・安心な除排雪を学ぼう
～除排雪時の事故を防ぎ、命を守るための知恵～

参加費 **無料**

❖ 日時：3月5日(日)13時30分～15時30分
❖ 場所：中津川地区公民館
❖ 講師：二藤部 久三氏
(国土交通省委嘱 克雪体制づくりアドバイザー)

除排雪中の事故から大切な命と体を守る安全対策について、座学と実践で学びます。安全装備の装着方法やはしごの転倒対策、除雪機使用時の注意点など、**身近だけど大事なポイント**を身につけましょう!

❖ 参加ご希望の方は役場企画課総合政策室(☎0238-87-0521)までご連絡ください。❖



2. 令和5年度の試行事業 豪雪地帯安全確保緊急対策交付金

1-1 冬が来る！除雪作業中の事故・ケガ防止セミナー

【開催概要】

開催日時：令和5年11月9日（木）10：00～12：00

会場：飯豊町町民総合センター「あ～す」多目的ホール

参加者：約30名

基調講演：「除雪作業中の事故と安全対策」

講師 長岡技術科学大学大学院 上村 靖司 教授

実践編：「除排雪時の安全対策～安全なロープワーク・用具の使い方～」

講師 克雪体制づくりアドバイザー 二藤部 久三 氏



冬が来る！
除排雪作業中の
事故・ケガ防止セミナー

豪雪地帯である飯豊町の暮らして避けられない冬の除排雪。一方で、除排雪時の事故で毎年のように負傷者が発生しています。安心して冬を過ごすために、安全な除排雪作業の方法やコツを身につけましょう。

日時：11月9日(木)10:00～12:00 (受付開始9:30)
会場：飯豊町町民総合センター「あ～す」多目的ホール

<p>基調講演</p> <p>「除雪作業中の事故と安全対策」</p> <p>講師 長岡技術科学大学大学院 教授 上村 靖司 氏</p> <p>1966年新潟県生まれ。東京理科大学工学、通信制大学経営学修士。NPO内職労働力プロジェクト/理事、中越バス/副会長、川口自治会/会長など。専攻土壌学/地質学関係の研究発表。 資力社 国が定めた補助金(FFJ)の申請。日本経済新聞3800円(FFJ)の記事。</p>	<p>実践編</p> <p>「除排雪時の安全対策 ～安全なロープワーク・用具の使い方～」</p> <p>講師 克雪体制づくりアドバイザー 二藤部 久三 氏</p> <p>はずばくく(おたけやま)の1-2の場がある。安全な除排雪のための対策について、すぐ役立つ技術を担当。</p>
---	--

参加無料

参加希望の方は下記担当までご連絡ください。
飯豊町役場企画課総合政策室
TEL：0238-87-0521 / FAX：0238-72-3827
Mail：f-seisaku@town.iide.yamagata.jp



1-2 ハンドガイド型除雪機の貸し出し

ハンドガイド型除雪機を購入し、必要に応じて有償ボランティアへの貸出しを行っている。

- ・規格：ディーゼルエンジン、歩行型 25ps



1-3 安全帯の周知及び推進

屋根の雪下ろしの際に使用する安全帯（フルハーネス）を整備し、安全講習会等を通して安全対策の必要性を広く周知していく。また、必要に応じて地域の雪下ろしやNPO法人等へ貸出しを行っている。



1-4 克雪住宅の調査

町内にある克雪住宅の調査を実施した。南側の屋根は落雪式、北側の屋根は融雪式となっている住宅の住民から使用状況等をヒアリングし、写真撮影を行った。



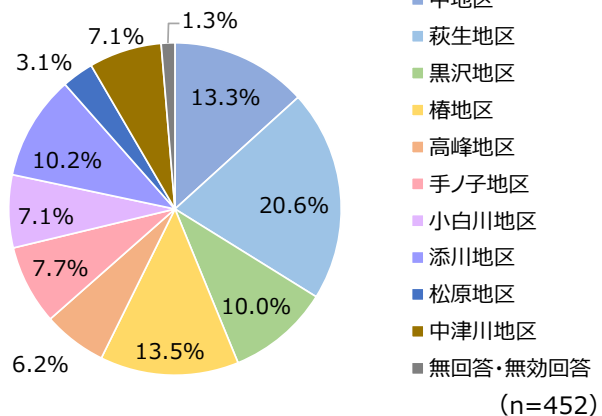
3. アンケート調査

2-1 単純集計結果

(1) あなたのご家族について

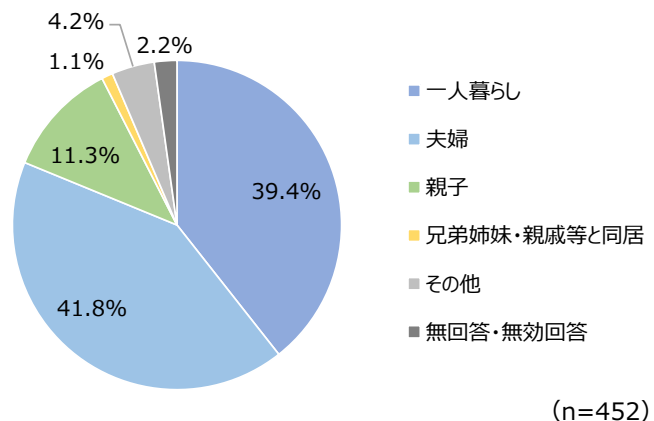
問 1-1 あなたのお住まいの地域をお答えください。

	回答数	割合
中地区	60	13.3%
萩生地区	93	20.6%
黒沢地区	45	10.0%
椿地区	61	13.5%
高峰地区	28	6.2%
手ノ子地区	35	7.7%
小白川地区	32	7.1%
添川地区	46	10.2%
松原地区	14	3.1%
中津川地区	32	7.1%
無回答・無効回答	6	1.3%
合計	452	100.0%



問 1-2 現在同居している家族の家族構成をお答えください。

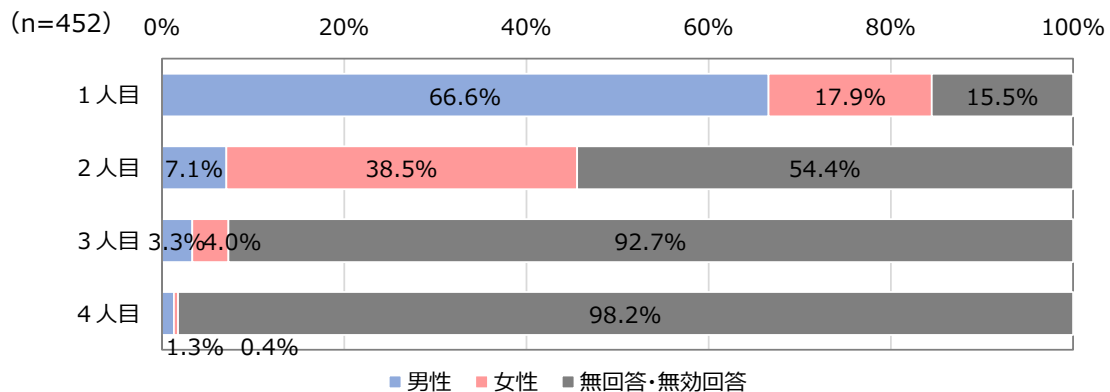
	回答数	割合
一人暮らし	178	39.4%
夫婦	189	41.8%
親子	51	11.3%
兄弟姉妹・親戚等と同居	5	1.1%
その他	19	4.2%
無回答・無効回答	10	2.2%
合計	452	100.0%



問 1-3 同居するご家族で屋根の雪下ろしや除雪を実施する方の「①性別」、「②年齢」、「③自宅の屋根の雪下ろしの有無」、「④自宅敷地内の除雪の有無」について、最高4人まで、それぞれお答えください。

①性別

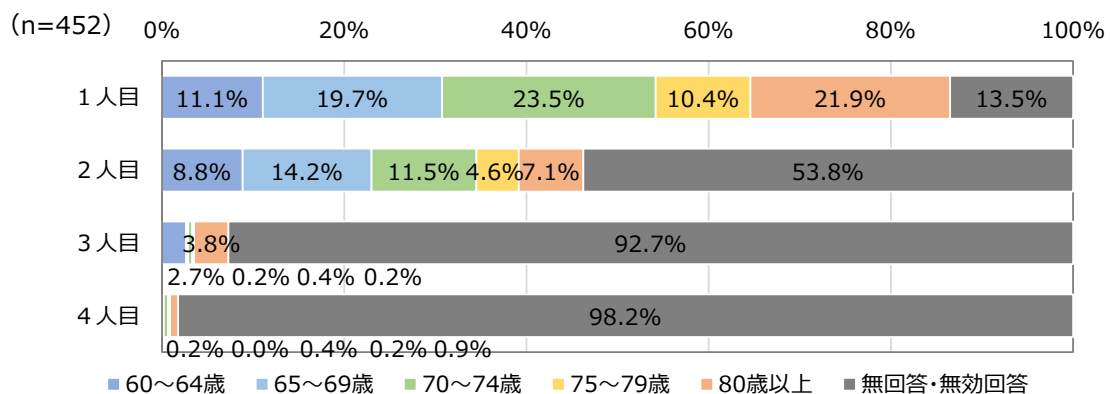
	回答数				割合			
	男性	女性	無回答・無効回答	合計	男性	女性	無回答・無効回答	合計
1人目	301	81	70	452	66.6%	17.9%	15.5%	100.0%
2人目	32	174	246	452	7.1%	38.5%	54.4%	100.0%
3人目	15	18	419	452	3.3%	4.0%	92.7%	100.0%
4人目	6	2	444	452	1.3%	0.4%	98.2%	100.0%



②年齢

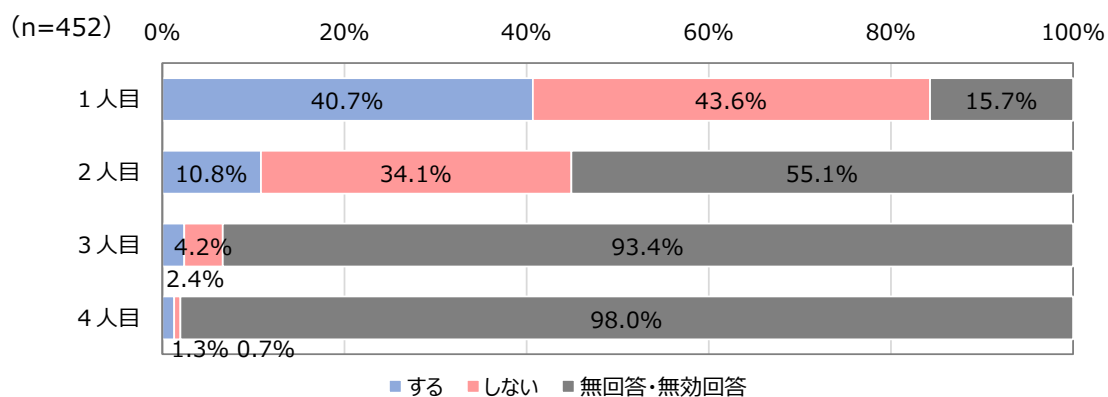
	回答数						
	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80歳以上	無回答・無効回答	合計
1人目	50	89	106	47	99	61	452
2人目	40	64	52	21	32	243	452
3人目	12	1	2	1	17	419	452
4人目	1	0	2	1	4	444	452

割合							
60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80歳以上	無回答・無効回答	合計	
11.1%	19.7%	23.5%	10.4%	21.9%	13.5%	100.0%	
8.8%	14.2%	11.5%	4.6%	7.1%	53.8%	100.0%	
2.7%	0.2%	0.4%	0.2%	3.8%	92.7%	100.0%	
0.2%	0.0%	0.4%	0.2%	0.9%	98.2%	100.0%	



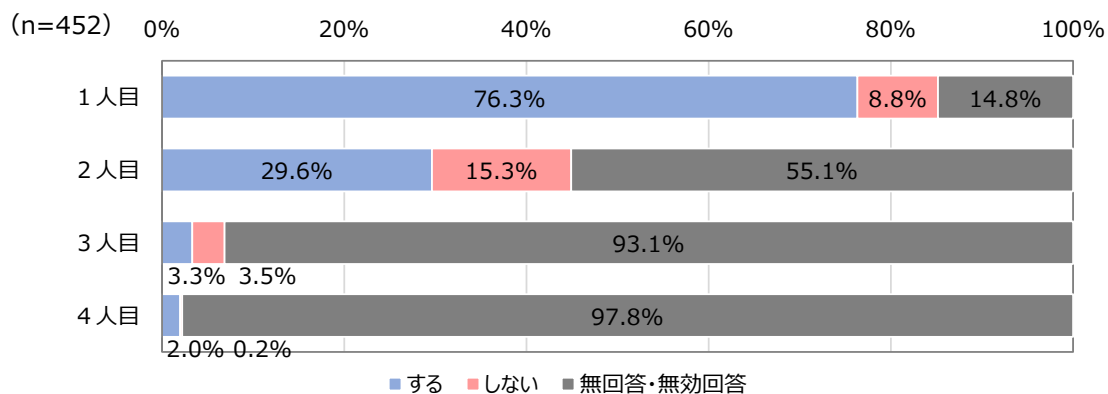
③屋根の雪下ろし

	回答数				割合			
	する	しない	無回答・無効回答	合計	する	しない	無回答・無効回答	合計
1人目	184	197	71	452	40.7%	43.6%	15.7%	100.0%
2人目	49	154	249	452	10.8%	34.1%	55.1%	100.0%
3人目	11	19	422	452	2.4%	4.2%	93.4%	100.0%
4人目	6	3	443	452	1.3%	0.7%	98.0%	100.0%



④敷地内の除雪

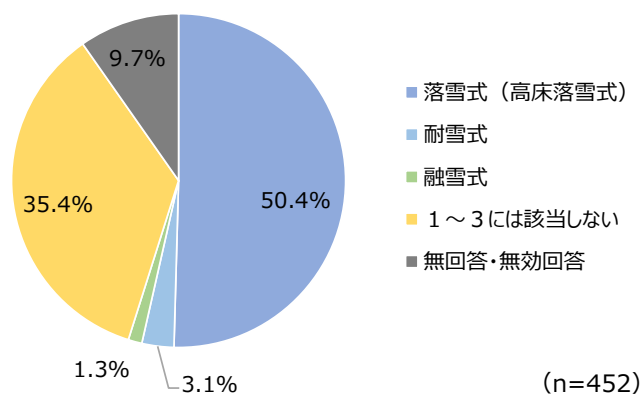
	回答数				割合			
	する	しない	無回答・無効回答	合計	する	しない	無回答・無効回答	合計
1人目	345	40	67	452	76.3%	8.8%	14.8%	100.0%
2人目	134	69	249	452	29.6%	15.3%	55.1%	100.0%
3人目	15	16	421	452	3.3%	3.5%	93.1%	100.0%
4人目	9	1	442	452	2.0%	0.2%	97.8%	100.0%



(2) お住まいについて

問2 あなたのお住まいは、克雪住宅のいずれかに該当しますか？

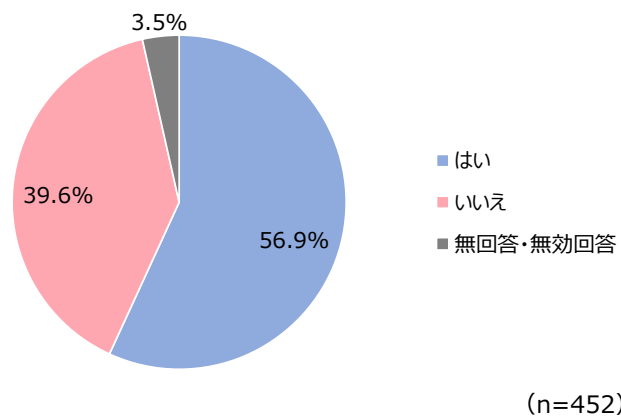
	回答数	割合
落雪式（高床落雪式）	228	50.4%
耐雪式	14	3.1%
融雪式	6	1.3%
1～3には該当しない	160	35.4%
無回答・無効回答	44	9.7%
合計	452	100.0%



(3) お住まいの「屋根の雪下ろし」について

問3 お住まいの屋根の「雪下ろし」は必要ですか？

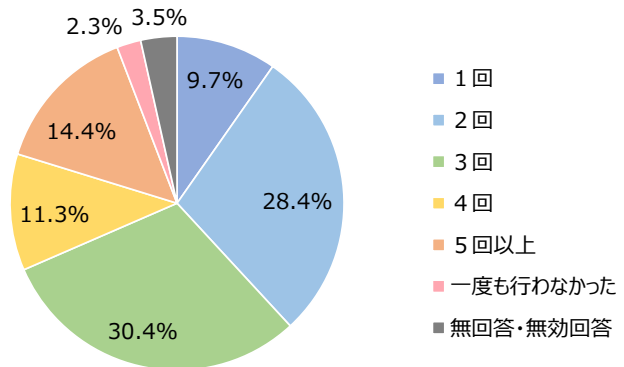
	回答数	割合
はい	257	56.9%
いいえ	179	39.6%
無回答・無効回答	16	3.5%
合計	452	100.0%



(問3で「1. はい」と答えた方にお聞きします。)

問4 過去2～3年の平均で、自宅の屋根の雪下ろしは、一年間に、何回行いましたか？

	回答数	割合
1回	25	9.7%
2回	73	28.4%
3回	78	30.4%
4回	29	11.3%
5回以上	37	14.4%
一度も行わなかった	6	2.3%
無回答・無効回答	9	3.5%
合計	257	100.0%

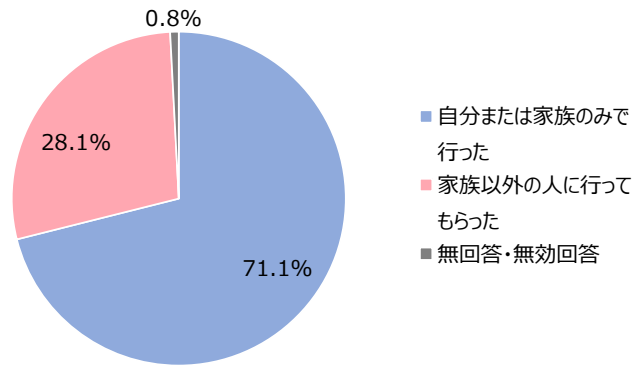


(n=257)

(問4で1～5と答えた方にお聞きします。)

問5 屋根の雪下ろしは主に誰が行いましたか？

	回答数	割合
自分または家族のみで行った	172	71.1%
家族以外の人に行ってもらった	68	28.1%
無回答・無効回答	2	0.8%
合計	242	100.0%

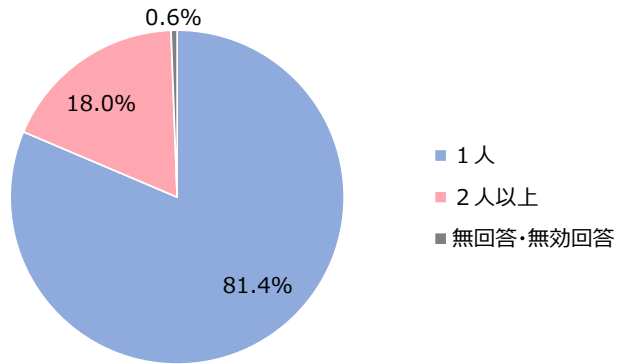


(n=242)

(問5で「1. 自分または家族のみで行った」と答えた方にお聞きします。)

問6 雪下ろしは何人で行いましたか？

	回答数	割合
1人	140	81.4%
2人以上	31	18.0%
無回答・無効回答	1	0.6%
合計	172	100.0%

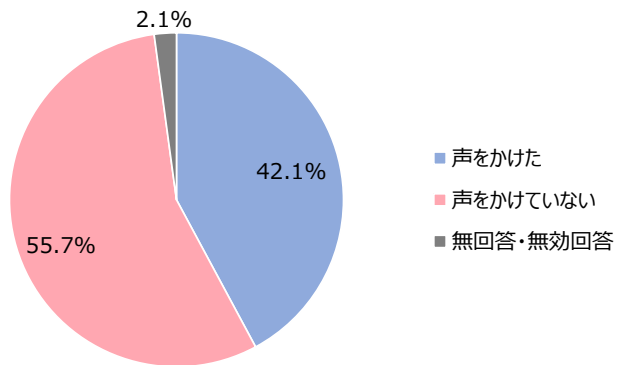


(n=172)

(問6で「1. 1人で行った方」と答えた方にお聞きします。)

問7 家族や近隣の住民等に声をかけてから行いましたか？

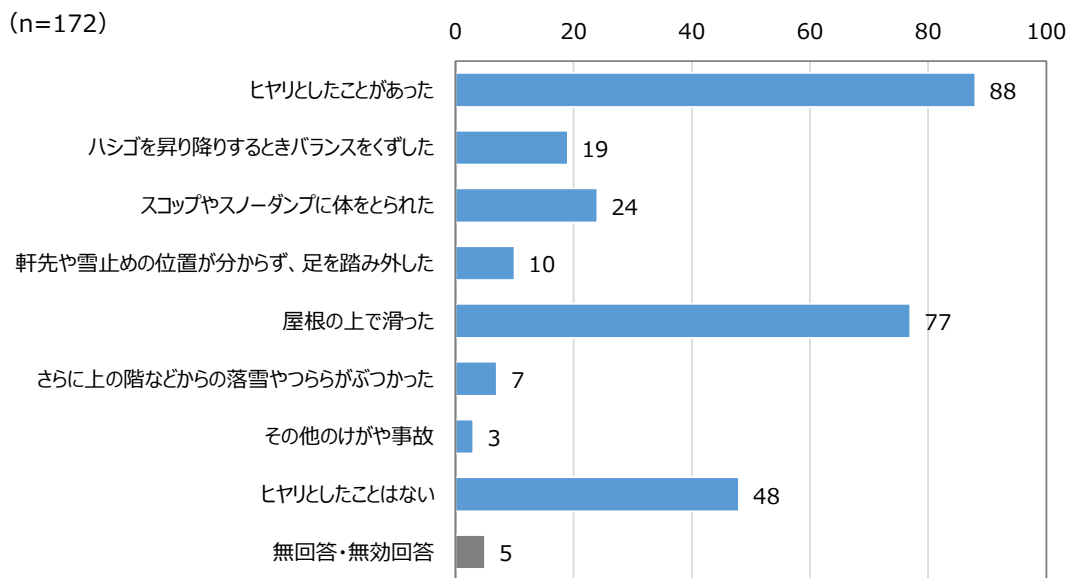
	回答数	割合
声をかけた	59	42.1%
声をかけていない	78	55.7%
無回答・無効回答	3	2.1%
合計	140	100.0%



(n=140)

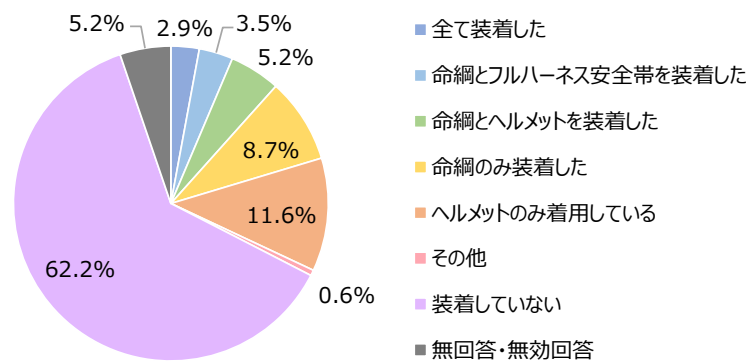
問 8 ご自身で屋根の雪下ろしを行った際、ヒヤリとしたことや事故にあったことはありますか？

	回答数	割合
ヒヤリとしたことがあった	88	51.2%
ハシゴを昇り降りするときバランスをくずした	19	11.0%
スコップやスノーダンプに体をとられた	24	14.0%
軒先や雪止めの位置が分からず、足を踏み外した	10	5.8%
屋根の上で滑った	77	44.8%
さらに上の階などからの落雪やつらがぶつかった	7	4.1%
その他のけがや事故	3	1.7%
ヒヤリとしたことはない	48	27.9%
無回答・無効回答	5	2.9%
合計	281	-



問 9 ご自身が雪下ろしを行う際、ヘルメットの着用や命綱、フルハーネス安全帯を装着しましたか？

	回答数	割合
全て装着した	5	2.9%
命綱とフルハーネス安全帯を装着した	6	3.5%
命綱とヘルメットを装着した	9	5.2%
命綱のみ装着した	15	8.7%
ヘルメットのみ着用している	20	11.6%
その他	1	0.6%
装着していない	107	62.2%
無回答・無効回答	9	5.2%
合計	172	100.0%



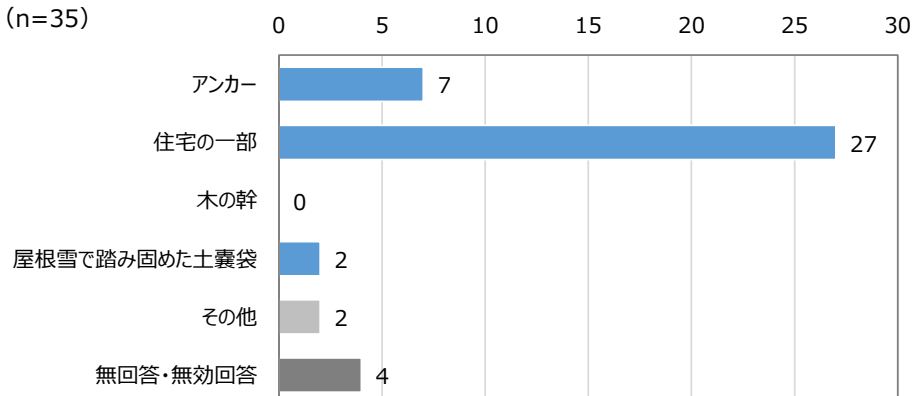
(n=172)

(問 9 で「1. いつも両方ともつけている」「2. 命綱とフルハーネス安全帯を装着した」「3. 命綱とヘルメットを装着した」「4. 命綱のみ装着した」と答えた方にお聞きします。)

問 10 命綱はどこに固定していますか？

	回答数	割合
アンカー	7	20.0%
住宅の一部	27	77.1%
木の幹	0	0.0%
屋根雪で踏み固めた土嚢袋	2	5.7%
その他	2	5.7%
無回答・無効回答	4	11.4%
合計	42	-

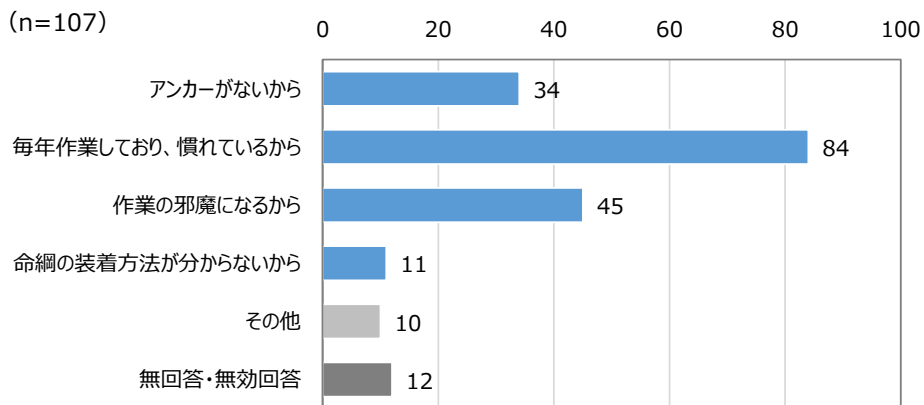
(n=35)



(問9で「7. 装着していない」と答えた方にお聞きします。)

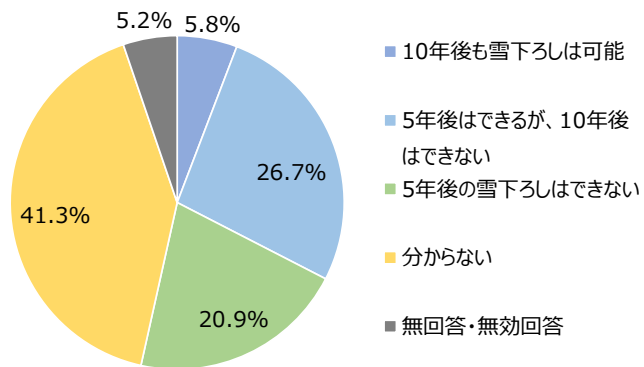
問 11 ヘルメットの着用や命綱、安全帯を装着しなかった理由は何ですか？

	回答数	割合
アンカーがないから	34	31.8%
毎年作業しており、慣れているから	84	78.5%
作業の邪魔になるから	45	42.1%
命綱の装着方法が分からないから	11	10.3%
その他	10	9.3%
無回答・無効回答	12	11.2%
合計	196	-



問 12 5年後、10年後も自分または家族のみで雪おろしができますか？

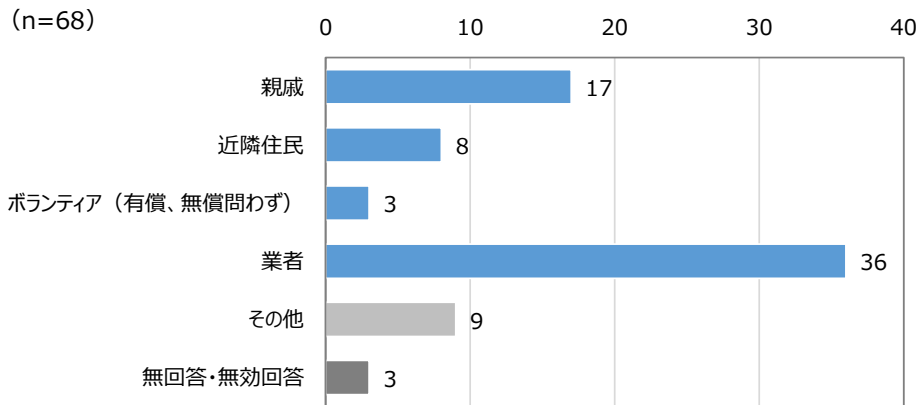
	回答数	割合
10年後も雪下ろしは可能	10	5.8%
5年後はできるが、10年後はできない	46	26.7%
5年後の雪下ろしはできない	36	20.9%
分からない	71	41.3%
無回答・無効回答	9	5.2%
合計	172	100.0%



(n=172)

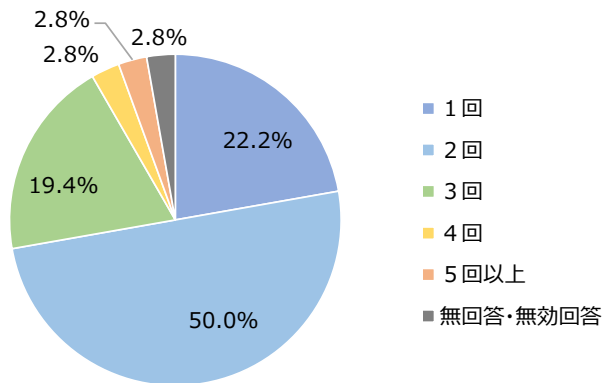
(問 5 で「2. 家族以外の人に行ってもらった」と答えた方にお聞きします。)
問 13 屋根の雪下ろしは誰が行いましたか？

	回答数	割合
親戚	17	25.0%
近隣住民	8	11.8%
ボランティア（有償、無償問わず）	3	4.4%
業者	36	52.9%
その他	9	13.2%
無回答・無効回答	3	4.4%
合計	76	-



(問 13 で「4. 業者」に依頼したと答えた方にお聞きします。)
問 14 (1) 過去 2～3 年の平均で、一年間に、何度依頼しましたか？

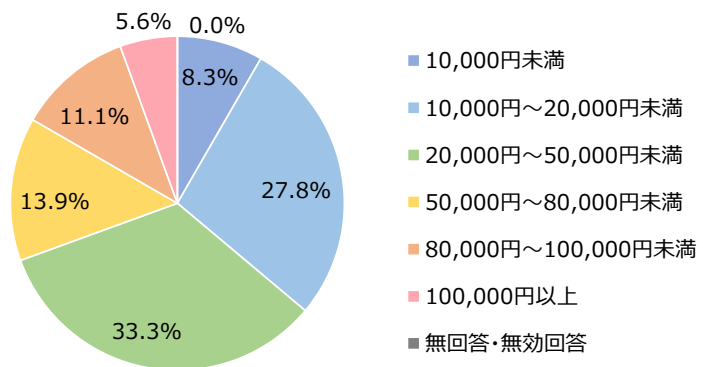
	回答数	割合
1回	8	22.2%
2回	18	50.0%
3回	7	19.4%
4回	1	2.8%
5回以上	1	2.8%
無回答・無効回答	1	2.8%
合計	36	100.0%



(n=35)

(問 13 で「4. 業者」に依頼したと答えた方にお聞きします。)
問 14 (2) 1 回あたりの費用はどのくらいかかりましたか？

	回答数	割合
10,000円未満	3	8.3%
10,000円～20,000円未満	10	27.8%
20,000円～50,000円未満	12	33.3%
50,000円～80,000円未満	5	13.9%
80,000円～100,000円未満	4	11.1%
100,000円以上	2	5.6%
無回答・無効回答	0	0.0%
合計	36	100.0%

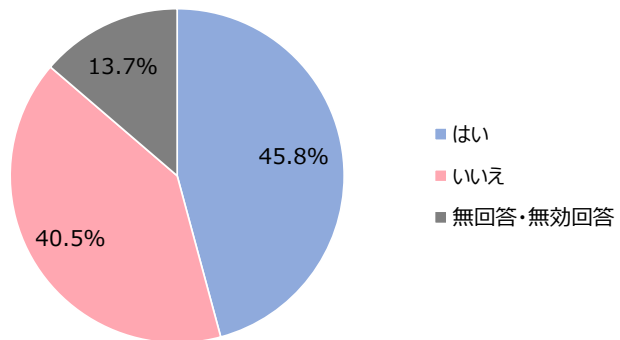


(n=35)

(4) 命綱を結ぶための設備 (アンカー) について

問 15 アンカーを知っていますか？

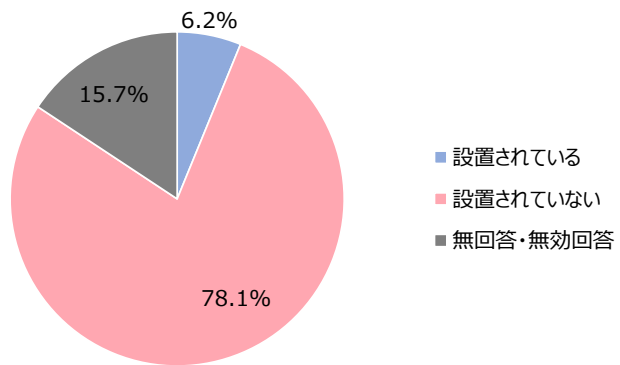
	回答数	割合
はい	207	45.8%
いいえ	183	40.5%
無回答・無効回答	62	13.7%
合計	452	100.0%



(n=452)

問 16 自宅の屋根にアンカーは設置されていますか？

	回答数	割合
設置されている	28	6.2%
設置されていない	353	78.1%
無回答・無効回答	71	15.7%
合計	452	100.0%

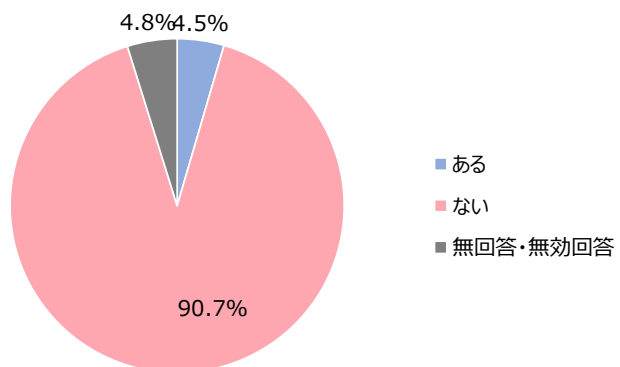


(n=452)

(問 16 で「2. 設置されていない方」と答えた方にお聞きします。)

問 17 アンカーを今後設置する予定はありますか？

	回答数	割合
ある	16	4.5%
ない	320	90.7%
無回答・無効回答	17	4.8%
合計	353	100.0%

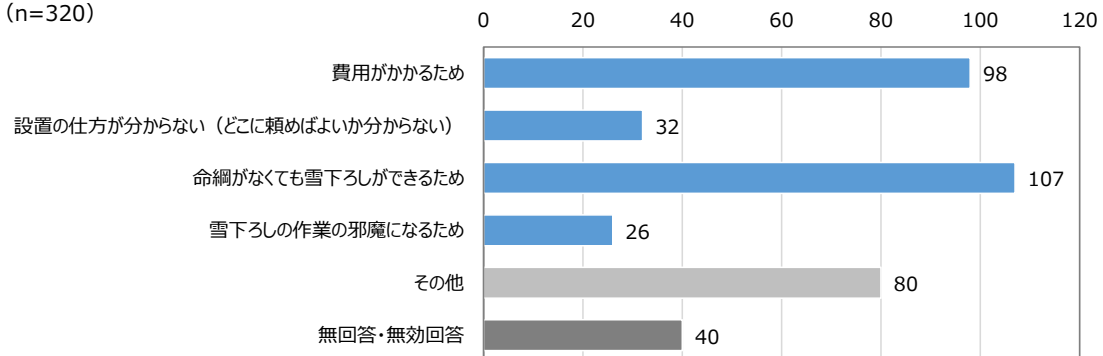


(n=353)

問 18 設置しない理由は何ですか？

	回答数	割合
費用がかかるため	98	30.6%
設置の仕方が分からない（どこに頼めばよいか分からない）	32	10.0%
命綱がなくても雪下ろしができるため	107	33.4%
雪下ろしの作業の邪魔になるため	26	8.1%
その他	80	25.0%
無回答・無効回答	40	12.5%
合計	383	-

(n=320)

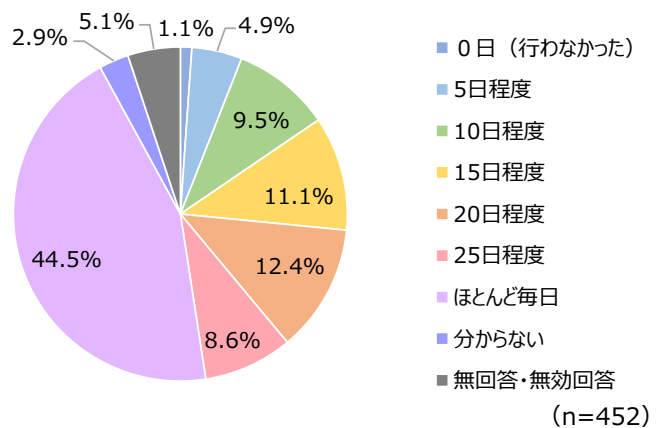


(5) 「敷地内除雪」について

問 19 過去2～3年の平均で、「敷地内除雪」はどのくらい行いましたか。

(1) 多い月で、ひと月に何日行いましたか？

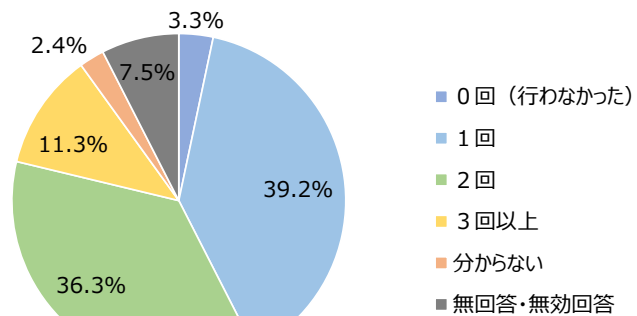
	回答数	割合
0日（行わなかった）	5	1.1%
5日程度	22	4.9%
10日程度	43	9.5%
15日程度	50	11.1%
20日程度	56	12.4%
25日程度	39	8.6%
ほとんど毎日	201	44.5%
分からない	13	2.9%
無回答・無効回答	23	5.1%
合計	452	100.0%



問 19 過去2～3年の平均で、「敷地内除雪」はどのくらい行いましたか。

(2) 1日あたりの平均回数は何回ですか？

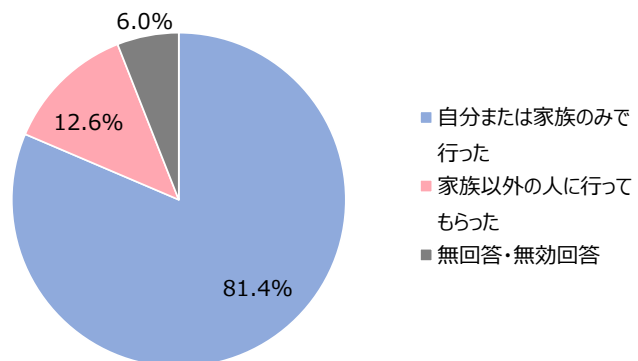
	回答数	割合
0回（行わなかった）	15	3.3%
1回	177	39.2%
2回	164	36.3%
3回以上	51	11.3%
分からない	11	2.4%
無回答・無効回答	34	7.5%
合計	452	100.0%



(n=452)

問 20 敷地内除雪は主に誰が行いましたか？

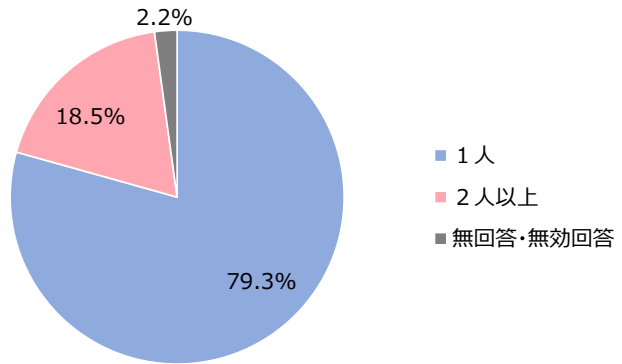
	回答数	割合
自分または家族のみで行った	368	81.4%
家族以外の人に行ってもらった	57	12.6%
無回答・無効回答	27	6.0%
合計	452	100.0%



(n=452)

(問 20 で「1. 自分または家族のみで行った」と答えた方にお聞きします。)
問 21 敷地内除雪は何人で行いましたか？

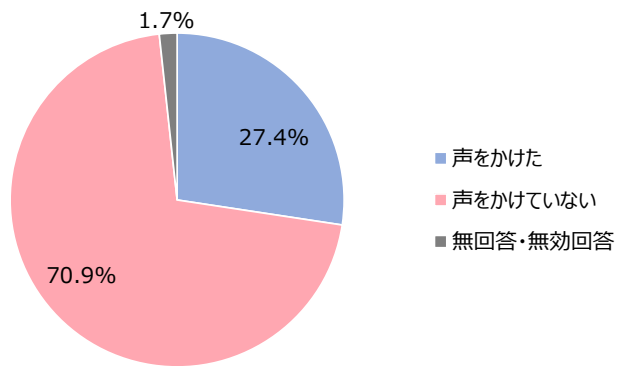
	回答数	割合
1人	292	79.3%
2人以上	68	18.5%
無回答・無効回答	8	2.2%
合計	368	100.0%



(n=368)

(問 21 で「1. 1人で行った方」と答えた方にお聞きします。)
問 22 家族や近隣の住民等に声をかけてから行いましたか？

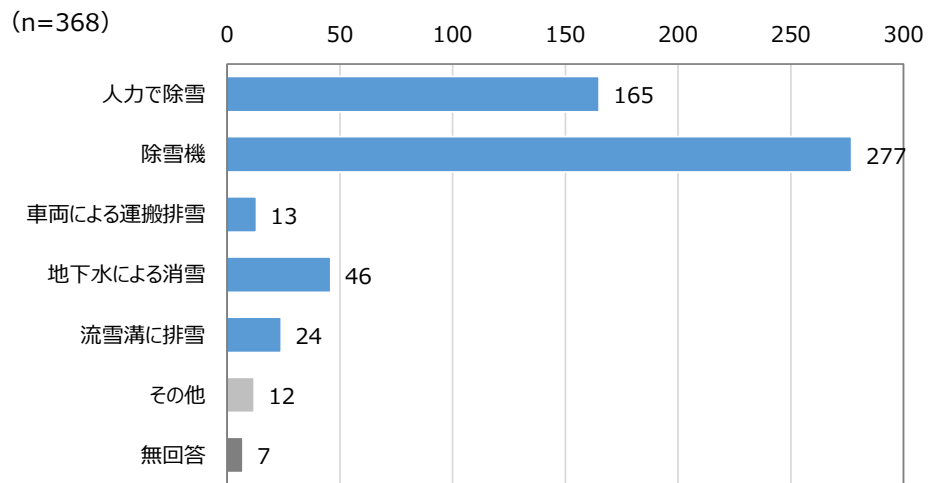
	回答数	割合
声をかけた	80	27.4%
声をかけていない	207	70.9%
無回答・無効回答	5	1.7%
合計	292	100.0%



(n=292)

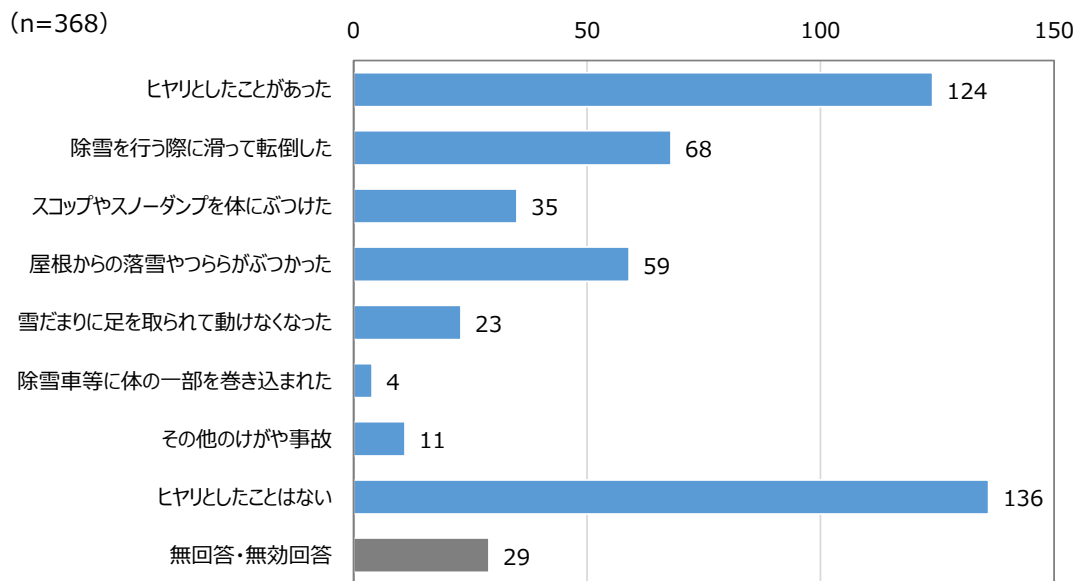
問 23 敷地内除雪の方法は何ですか？

	回答数	割合
人力で除雪	165	44.8%
除雪機	277	75.3%
車両による運搬排雪	13	3.5%
地下水による消雪	46	12.5%
流雪溝に排雪	24	6.5%
その他	12	3.3%
無回答	7	1.9%
合計	544	-



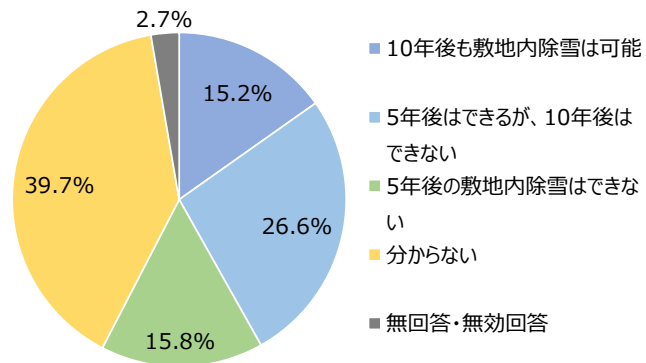
問 24 ご自身で敷地内除雪を行った際、ヒヤリとしたことや事故にあったことはありますか？

	回答数	割合
ヒヤリとしたことがあった	124	33.7%
除雪を行う際に滑って転倒した	68	18.5%
スコップやスノーダンプを体にぶつけた	35	9.5%
屋根からの落雪やつらがぶつかった	59	16.0%
雪だまりに足を取られて動けなくなった	23	6.3%
除雪車等に体の一部を巻き込まれた	4	1.1%
その他のけがや事故	11	3.0%
ヒヤリとしたことはない	136	37.0%
無回答・無効回答	29	7.9%
合計	489	-



問 25 5年後、10年後も自分や家族のみで敷地内除雪ができますか？

	回答数	割合
10年後も敷地内除雪は可能	56	15.2%
5年後はできるが、10年後はできない	98	26.6%
5年後の敷地内除雪はできない	58	15.8%
分からない	146	39.7%
無回答・無効回答	10	2.7%
合計	368	100.0%



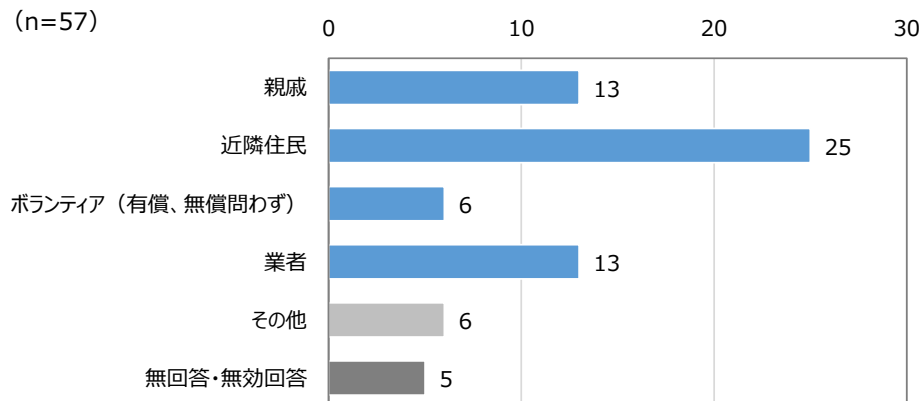
(n=368)

(問 20 で「2. 家族以外の人に行ってもらった」と答えた方にお聞きます。)

問 26 敷地内除雪を主に行ったのは誰ですか？

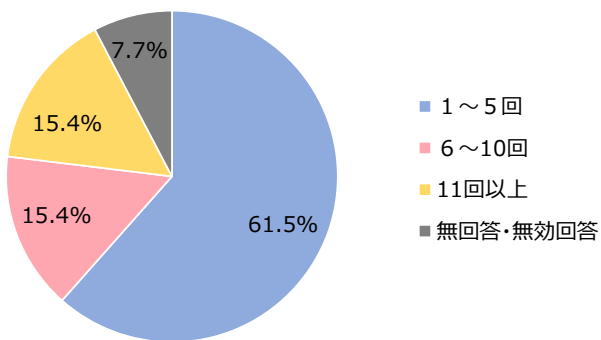
	回答数	割合
親戚	13	22.8%
近隣住民	25	43.9%
ボランティア（有償、無償問わず）	6	10.5%
業者	13	22.8%
その他	6	10.5%
無回答・無効回答	5	8.8%
合計	68	—

(n=57)



(問 26 で「4. 業者」に依頼したと答えた方にお聞きします。)
問 27 (1) 昨冬は、一年間に、何度依頼しましたか？

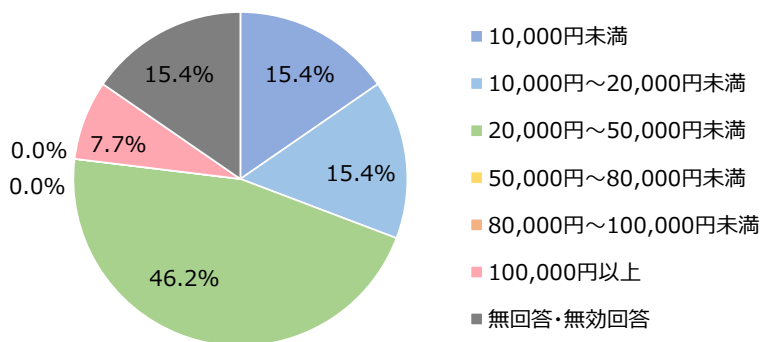
	回答数	割合
1～5回	8	61.5%
6～10回	2	15.4%
11回以上	2	15.4%
無回答・無効回答	1	7.7%
合計	13	100.0%



(n=13)

(問 26 で「4. 業者」に依頼したと答えた方にお聞きします。)
問 27 (2) 1回あたりの費用はどのくらいかかりましたか？

	回答数	割合
10,000円未満	2	15.4%
10,000円～20,000円未満	2	15.4%
20,000円～50,000円未満	6	46.2%
50,000円～80,000円未満	0	0.0%
80,000円～100,000円未満	0	0.0%
100,000円以上	1	7.7%
無回答・無効回答	2	15.4%
合計	13	100.0%



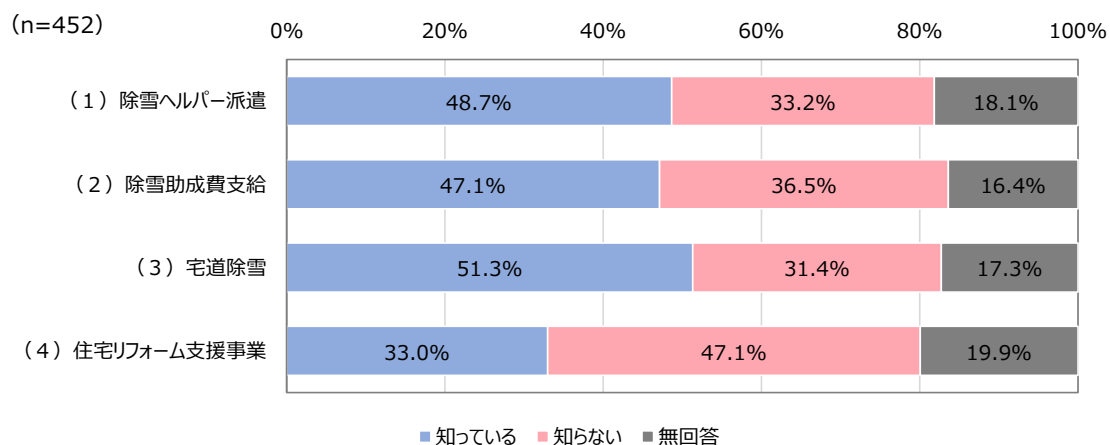
(n=13)

(6) 雪下ろし、除雪等に関する情報について

問 28 町などで実施している雪下ろしや敷地内除雪に関する支援制度を知っていますか。または活用したことはありますか？
(1)～(4)のそれぞれについてお答えください。

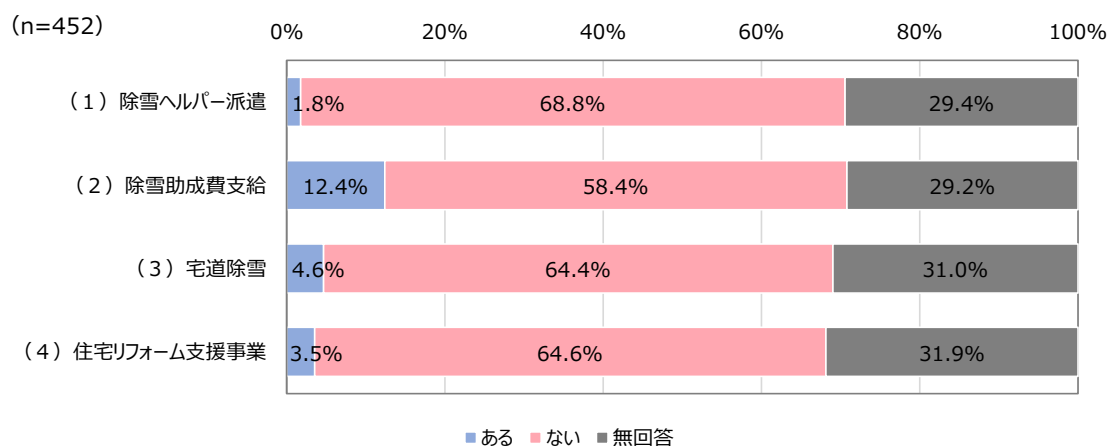
①認知状況

	回答数				割合			
	知っている	知らない	無回答	合計	知っている	知らない	無回答	合計
(1) 除雪ヘルパー派遣	220	150	82	452	48.7%	33.2%	18.1%	100.0%
(2) 除雪助成費支給	213	165	74	452	47.1%	36.5%	16.4%	100.0%
(3) 宅道除雪	232	142	78	452	51.3%	31.4%	17.3%	100.0%
(4) 住宅リフォーム支援事業	149	213	90	452	33.0%	47.1%	19.9%	100.0%



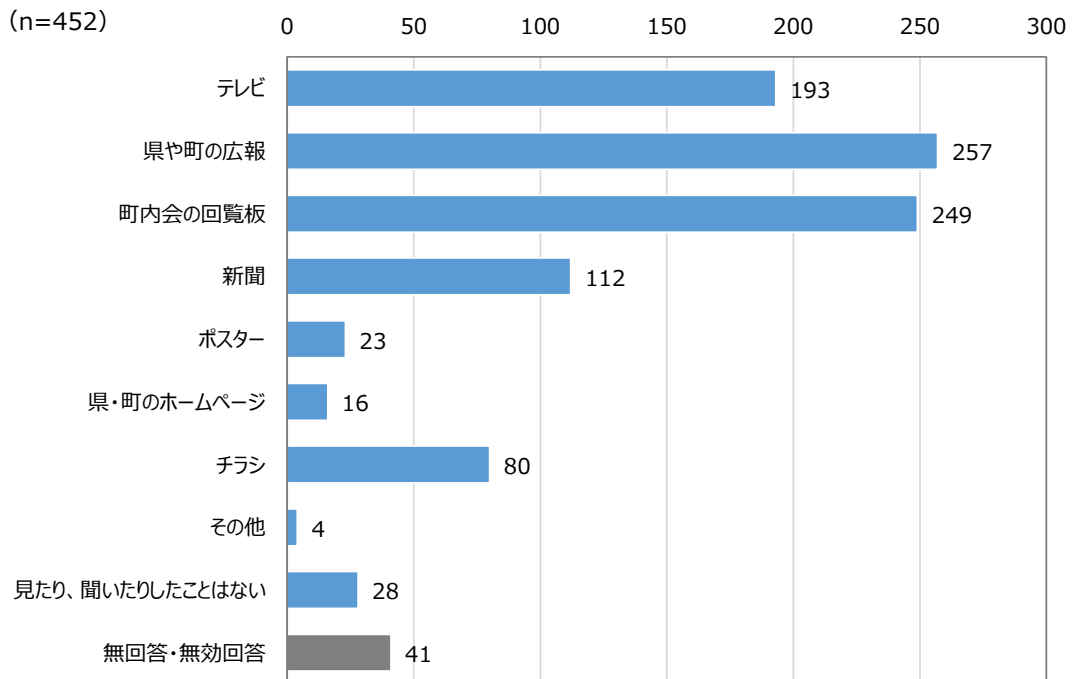
②活用したこと

	回答数				割合			
	ある	ない	無回答	合計	ある	ない	無回答	合計
(1) 除雪ヘルパー派遣	8	311	133	452	1.8%	68.8%	29.4%	100.0%
(2) 除雪助成費支給	56	264	132	452	12.4%	58.4%	29.2%	100.0%
(3) 宅道除雪	21	291	140	452	4.6%	64.4%	31.0%	100.0%
(4) 住宅リフォーム支援事業	16	292	144	452	3.5%	64.6%	31.9%	100.0%



問 29 県・町などが行っている雪下ろしの事故防止の普及啓発について、どのような媒体（手段）でご覧になりましたか？

	回答数	割合
テレビ	193	42.7%
県や町の広報	257	56.9%
町内会の回覧板	249	55.1%
新聞	112	24.8%
ポスター	23	5.1%
県・町のホームページ	16	3.5%
チラシ	80	17.7%
その他	4	0.9%
見たり、聞いたりしたことはない	28	6.2%
無回答・無効回答	41	9.1%
合計	1,003	-

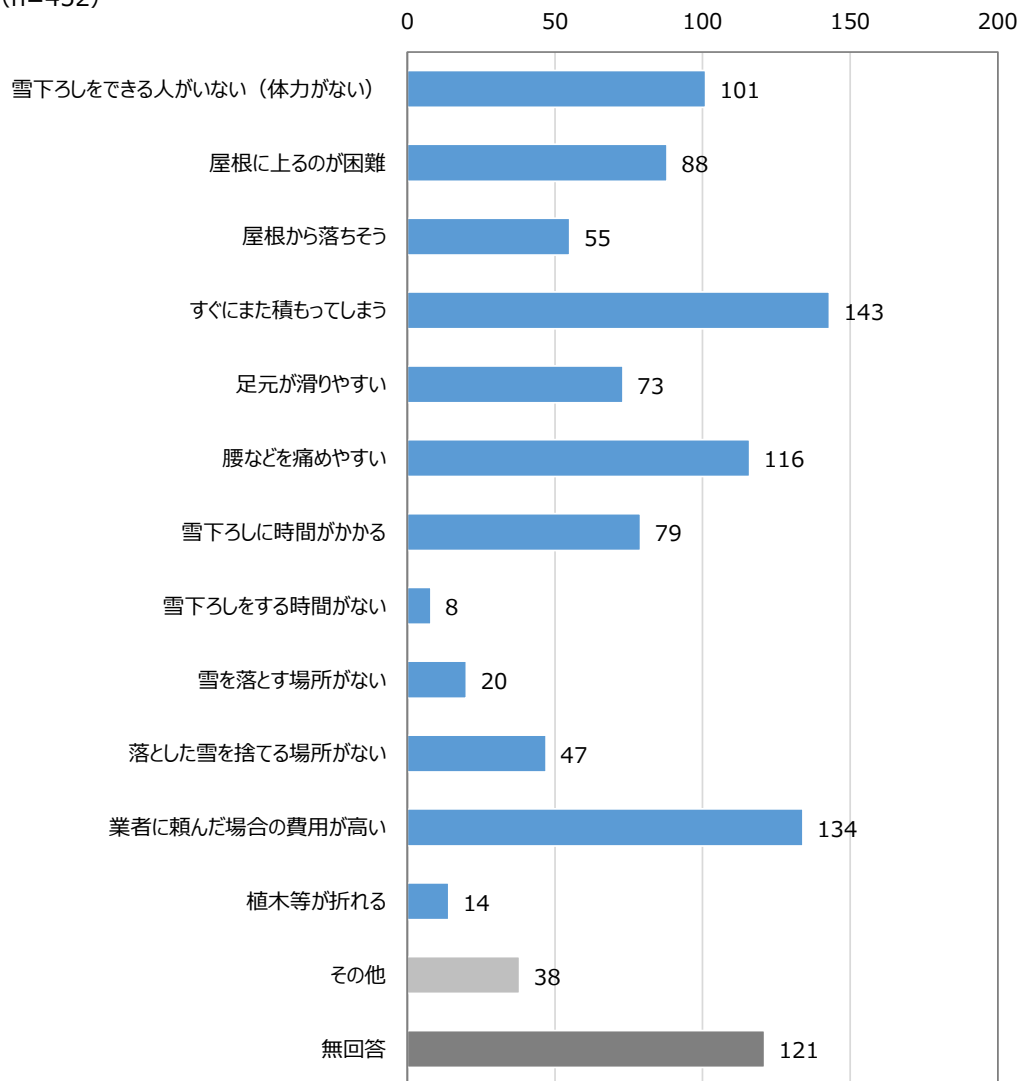


問 30 屋根の雪下ろしや敷地内除雪について、困っていることを教えてください。

(1)「屋根の雪下ろし」について

	回答数	割合
雪下ろしをできる人がいない（体力がない）	101	22.3%
屋根に上るのが困難	88	19.5%
屋根から落ちそう	55	12.2%
すぐにまた積もってしまう	143	31.6%
足元が滑りやすい	73	16.2%
腰などを痛めやすい	116	25.7%
雪下ろしに時間がかかる	79	17.5%
雪下ろしをする時間がない	8	1.8%
雪を落とす場所がない	20	4.4%
落とした雪を捨てる場所がない	47	10.4%
業者に頼んだ場合の費用が高い	134	29.6%
植木等が折れる	14	3.1%
その他	38	8.4%
無回答	121	26.8%
合計	1,037	—

(n=452)

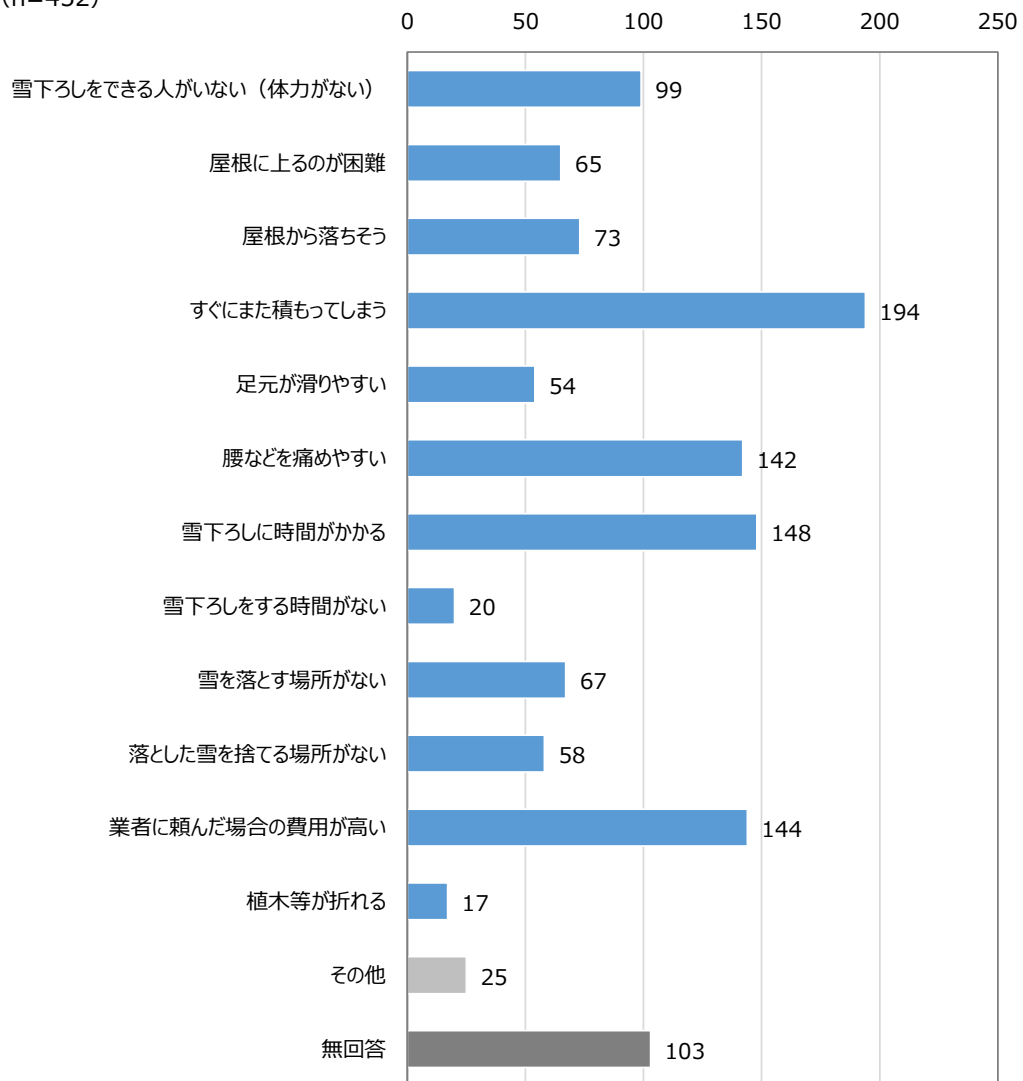


問 30 屋根の雪下ろしや敷地内除雪について、困っていることを教えてください。

(2)「敷地内の除雪」について

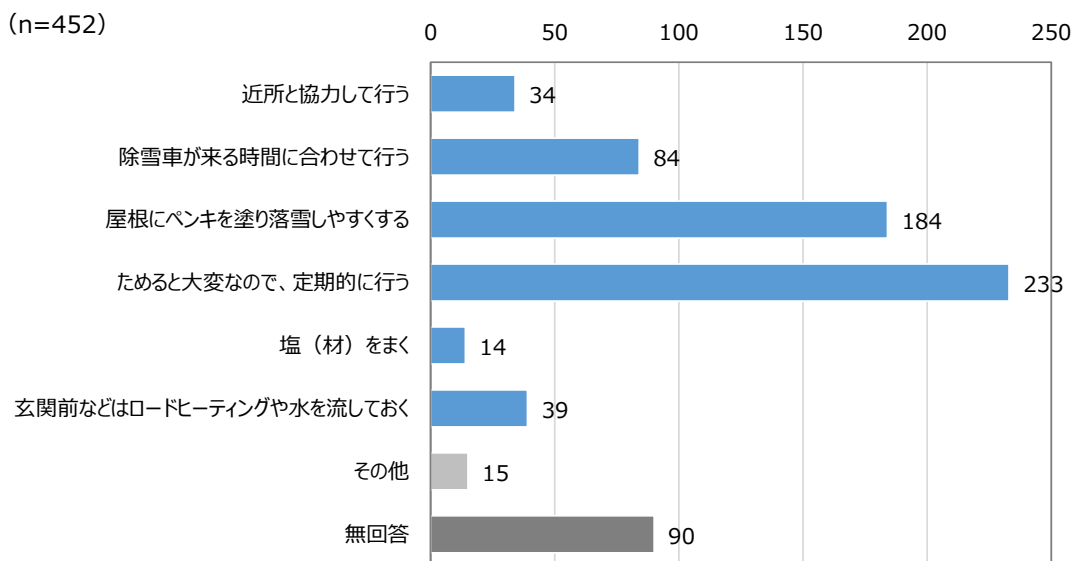
	回答数	割合
雪下ろしをできる人がいない（体力がない）	99	21.9%
屋根に上るのが困難	65	14.4%
屋根から落ちそう	73	16.2%
すぐにまた積もってしまう	194	42.9%
足元が滑りやすい	54	11.9%
腰などを痛めやすい	142	31.4%
雪下ろしに時間がかかる	148	32.7%
雪下ろしをする時間がない	20	4.4%
雪を落とす場所がない	67	14.8%
落とした雪を捨てる場所がない	58	12.8%
業者に頼んだ場合の費用が高い	144	31.9%
植木等が折れる	17	3.8%
その他	25	5.5%
無回答	103	22.8%
合計	1,209	—

(n=452)



問 31 屋根の雪下ろしや敷地内除雪について、個人、家族、または地区などで工夫していることや心がけていることがあれば教えてください。

	回答数	割合
近所と協力して行う	34	7.5%
除雪車が来る時間に合わせて行う	84	18.6%
屋根にペンキを塗り落雪しやすくする	184	40.7%
ためると大変なので、定期的に行う	233	51.5%
塩（材）をまく	14	3.1%
玄関前などはロードヒーティングや水を流しておく	39	8.6%
その他	15	3.3%
無回答	90	19.9%
合計	693	-



2-2 自由回答

(原文のまま)

分類	敷地内除雪をする方の年齢	回答内容
除雪の金額や助成 (燃料費含む)	65～69 歳	除雪機の燃料代が高い。年間(一冬)2万円位。助成してもらえたらありがたいです。
除雪の金額や助成 (燃料費含む)	65～69 歳	除雪に使用目的のガソリン等の助成金があれば助かります。1シーズンごと数リッターでも良いので助成してほしいです。公共の場所に関しては、飯豊町の道路の除雪は、巾も広く、道路がみえる位まで除雪されているので、通学、通勤に大変助かっております。感謝しております。本当に朝早くからご苦勞様です。
除雪の金額や助成 (燃料費含む)	70～74 歳	・高齢者世帯に助成金をだして欲しい。・消雪道路の維持費として地方組合で組織して各戸負担しているが、行政(町)で負担すべきである。
除雪の金額や助成 (燃料費含む)	70～74 歳	毎日の除雪作業が苦で、アパート暮らしを考えたりします。融雪設備や除雪機の購入、更新に助成があり安易にできる様になることを望む。(1/2 や 1/3 の助成ではなく、9割など高率で)
除雪の金額や助成 (燃料費含む)	70～74 歳	宅道の除雪ですが、自家用の機械の使用にも燃料の補助をお願いしたい。道路までが広いので大へんだ。※雪を制するものは飯豊町を制する。部落に一本防雪柵をお願いしたい。
除雪の金額や助成 (燃料費含む)	70～74 歳	機械が大きいため軽油代が多額になる。一シーズン 300L程必要である事が!
除雪の金額や助成 (燃料費含む)	70～74 歳	町の支援制度があるにしても、雪下ろし等、必ず2人でという事で費用が高く頼めなかった。
除雪の金額や助成 (燃料費含む)	70～74 歳	除雪キの燃料代が高騰している。一シーズン数万かかる。
除雪の金額や助成 (燃料費含む)	70～74 歳	ボランティアの人達に雪おろしをしていただきたいと思います。業者にたのむとお金がかかる。
除雪の金額や助成 (燃料費含む)	80 歳以上	高峰地区は3m近い豪雪地帯の為除雪機の維持や、油類の高騰により後期高齢世帯は大変苦しい状況にある。従って冬期間(3ヶ月)の除雪費を上げて頂きたいので宜しくお願いします。
除雪の金額や助成 (燃料費含む)	80 歳以上	当地の降雪は量が多く屋根からの落雪は時間がたてば堅くしまり、大型の除雪機でないと除雪は出来ない。(30PS級で価格300万円以上のものが必要)購入に公の補助金があれば大変助かります。
除雪の金額や助成 (燃料費含む)	いない	雪降ろしの補助がもらえるとありがたい。収入が少ないので。水害で側溝が使えないので今年は川(側溝)に雪をすてるのが出来ないのどうしたらいいか困っている。町に相談したが自分でどうにかしてと言われ、今年の冬はどうなるのか不安しかない。敷地内の雪はボランティアさんが定期的に来て片づけてくれたらありがたいと思うが、誰に頼めばよいのかわからない。
除雪の金額や助成 (燃料費含む)	いない	雪でお金がかかります。1回の除雪で3,500 かかります。とても年金では生活が出来ません。

分類	敷地内除雪をする方の年齢	回答内容
除雪の金額や助成(燃料費含む)	いない	87才1人暮らしをしておりますが、世間様のお世話頂いていると思っておりますが、町で高齢者家族に対し宅道限りトラン丸を出して頂いております事、感謝致しております。毎年冬の期間になりますと、除雪の費用の件、いいなどで1人暮らし又高齢者宅の雪おろしのかかった経ヒを半額助成とか良く書かれているのを見かけます。業者をか来てきれいにしたのをみると世間の人が良いもんねー、いやみなのかそんな言葉を耳にしますが、そんな金、87才のパーでさえ頂いた事ありません。迷惑に思う事も…。でも灯油代、除雪代 5,000、15,000 頂いております。半額助成とか…は何か皆さんに誤解されているようでいやです。
融雪設備や除雪機等への負担や助成	60～64 歳	除雪機等の経費軽減の助成等も必要でないか。
融雪設備や除雪機等への負担や助成	65～69 歳	除雪機の価格が高く、次回更新が出来そうもない。
融雪設備や除雪機等への負担や助成	65～69 歳	屋根に上ると危険なので、雪止め(アンカー)は全て取り除き雪のたまらないタン、横長尺物に改め、落ちた雪を処理する事にした。降った雪が屋根で溶ける、そのような魔法みたいなペンキがあると、聞いたことがあるが、急には信じ難い。ヒーターを取り付ける事も考えたが、200V で経費が設置、ランニングコストも高く、とても手が出ない。雪の事故は除雪機のみ考えられる。それとて高額である。乗用車が1台は買える。燃料代も高い。国、県レベルでの経済的負担に対する補助は是非必要と思う。
融雪設備や除雪機等への負担や助成	75～79 歳	雪の多い地域なので除雪機なくて生活はできない。除雪機購入(更新)に助成してほしい。
融雪設備や除雪機等への負担や助成	75～79 歳	32馬力のトラクターで除雪をやっていますが、後側をむかなければならないので首、手がかかる。
水路・側溝・流雪溝	65～69 歳	・側溝があるので、融雪溝にしてほしい。・消雪も全体的に水が出る様にしてほしい。
水路・側溝・流雪溝	65～69 歳	解答が(紙面が)きたなくなってますすみません。流雪溝が近くにあったら時間を気にせず排雪できたら良かったのになあと毎年思います。消雪道路に水が出始めたことを確認し、車、人の通行の障害にならないように気をつけながら排雪させてもらってます。これができなくなると体力共にお金の心配が出てくると思ってます。
水路・側溝・流雪溝	65～69 歳	雪のやり場所がなく、側溝に入れますが、川の水が流れているのではなく、消雪の水なので、捨てる量が多くて最後は道路の消雪が出ている所に出してしまいます。毎年、最初でいた水が出なくなったりするので、もっと消雪の管理を、徹底してほしい。
水路・側溝・流雪溝	70～74 歳	スノーダンプで水路に雪を捨てるが、水が来ないと雪が流れず捨てる場所がない。除雪機使用が困難でスノーダンプだけでは大変です。道路に雪を出す事は悪いとわかってはいますが雪のやり所がないと困ってしまう。ブルで田んぼの方に雪を押しやって捨てる場所を作ってほしい。
水路・側溝・流雪溝	70～74 歳	流雪溝、消雪道路等の整備を早急に！！
水路・側溝・流雪溝	75～79 歳	流雪溝のところに除雪車が雪をおいていかれると、かたくなって大変です。
水路・側溝・流雪溝	75～79 歳	近くに排雪出来る場所がないので、除雪機で払ってもどんどん高くなるばかりでこまる。すてる場所があれば、ある程度きれいにしておけると思っている。

分類	敷地内除雪をする方の年齢	回答内容
水路・側溝・流雪溝	80 歳以上	8 月 3 日の災害に水路がこわれたので冬には家の後に水が流れてこないのが心配で有ります。このまま雪が積もったらどこに雪を捨てるのにこまると思います。雪の降るまではなんとか、水路に水を流してもらいたい。今年は雪が多いと聞いておりますのでよろしくお願ひいたします。もし水が水路に流れてこなくなったら家の後が山に成ると思います。
水路・側溝・流雪溝	80 歳以上	豪雪に成ると、どうしても県道に出さねばならない時期が有ります。こうした場合、県道除雪業者側と、町行政との了解が必要になるとと思いますが、業者側に理解してもらえ様にしてほしいものです。又、除雪キ等に対する購入時に於ける補助制度等も検討してもらいたいものです。
除雪隊(地域ごとに無償のボランティアが除雪してくれている)	70～74 歳	各地区で組織されている除雪隊への支援を更に長く厚く願ひたい。
除雪隊(地域ごとに無償のボランティアが除雪してくれている)	70～74 歳	家の場合、地区の除雪隊におねがいしております。
有償ボランティア・NPO まちづくりいいで	いない	シルバー人材、NPO に依頼する。
業者の除雪	65～69 歳	65 才以上の 2 人暮らしで身体が不自由なため大変です。父親が 90 才でデーサービスに通っているけど、家の入口に除雪車が大きな雪のかたまりを平気で置いていくので大変です。動かす事が出来ない雪をしき地内に置いていかれると運ぶ所がない。もう少し業者の人が考えて仕事をしてほしい。部落の助け合いはないので、知り合いに頼むけれど年金生活では金がかかるので大変なので困る。1 人の年金で 2 人生活にはきびしいです。
業者の除雪	65～69 歳	特にありません。業者に頼んだ場合の費用が安ければ、たのむと思います。
業者の除雪	80 歳以上	高齢者の世帯主の人の家の雪下ろしを町で応援してもらいたい。業者の賃金の 50%を町で負担して頂くとたいへんたすかります。
業者の除雪	80 歳以上	家の回りが雪でいっぱいになる為、業者にたのんでも忙しく来てもらえず近隣の人にやってもらうので料金がかかってしまう。
業者の除雪	80 歳以上	我が家は面積が少ないので 3、4 年前は 1 人で半日で雪下しをして貰ったのが、最近では業者 3 人での雪下しでした。とても大変です。今は近くにお願ひする人がいないので仕方なくお願ひしています。
業者の除雪	いない	除雪作業に業者依頼には、町で決めた基本料金が広報等で周知されているが、実際には建設会社等の除雪では、3000 円程上乘せされている請求される。当然、作業は二人で行うこととなり、1 回の雪降しでは 36000 円の支払いとなる。雪下しが必要な屋根は、5 棟ある。一回全部で掛かる費用は 20 万円以上となる。年金生活の者にとって、出来ない相談である。体力がある限りやるしかないのだ。

分類	敷地内除雪をする方の年齢	回答内容
業者の除雪	いない	公民館に除雪機があつて利用していますが(むらづくり地区内で)地区内に高齢者が多いため、一度もお世話になれません。雪は平均に降りますし、オペレーターも少ないので業者をお願いするしかありません。(人手不足のため。)安心して冬が越せるようお願いします。
業者の除雪	いない	1人暮らしで高令のため毎年大変な思いをしています。業者に頼めば多額となりとても苦しい期間です。
近所や地区での支え合い	60～64 歳	敷地内の除雪については、近隣のよく事情が分かる人が行なうのが良いのではないかと。毎日最低限の除雪で休みのできる日は、広く除雪するなど、除雪する人の負担にならないのが長続きするのでは。
近所や地区での支え合い	65～69 歳	・これからの集落は、行政に頼るだけでなく隣近所の支え合い助け合いが必要と思う。・家の前の道路も、隣組単位で(協力し合い除雪し合い)通勤通学の為の道巾確保等行うべきだ(行政に苦言を言うだけではダメ)。
近所や地区での支え合い	70～74 歳	近所の人達と協力してやれば雪かきも苦にならないと思います。
近所や地区での支え合い	70～74 歳	町にお願いしても無理だと思しますので、となり組同志で仲良く行のが一番だと思います。歩道除雪 20 年間もしているのに、町は何の対策もしていない。若い人達はもう会社も大変で限界にきていると思います。
近所や地区での支え合い	70～74 歳	敷地内の除雪は、近所の方に除雪機でもらう事もある。
近所や地区での支え合い	70～74 歳	ひとり暮らしなので雪の事については、近所でお互い様の精神で、生活していただきたい。何かにと近所から言われると体がおかしくなる。
近所や地区での支え合い	70～74 歳	地区内で除雪に困っている人がいても自分の事で手一杯で手伝えない。町で対応出来る組織があり、安く頼める様にして欲しい。
近所や地区での支え合い	いない	地区の若い方で時間のあいてる時かたずけていただけると助かります。地区内で話し合っていたら、1人暮らしの家を助けていただきたい。私が雪かたずけをやっていると、春になるとひとりでとけるからやらない方がいいとよく言われます。せつかく家のわきに水路があるのに冬になると流れないのでもったいないです。少しでも流していただくと雪を入れると少しの水でも(チョロチョロと)とけてくれるので、あぶなくないでいど流して下さい。お願い致します。
近所や地区での支え合い	いない	近所のだんなさんが雪がふると自宅をはらい私の玄関前と車庫前をいつも雪をはらってくれます。すごくありがたいです。油代としてお金をやるがとってくれません。本当に有りがたいです。
将来への不安	60～64 歳	年齢を重ねていくばかりです。体力も気力も落ちて行く。頑張る気もちで生活しているが、若い人や町にもめいわくはあまりかけたく無い。できるだけ、可能な事は継続していきたい。見まわり等や声がけだけでもしてもらえれば幸いです。
将来への不安	60～64 歳	雪を捨てる場所は周りは広いので心配はないのですが、いつも一人でするので家族が時々見たりして気をつけています。自分も出来る時は 2 人でしていましたが、今ではスコップも持つ事も出来ない。許してもらえない。出来れば助けてほしいと思います。
将来への不安	60～64 歳	今回一人なのでこまっている。

分類	敷地内除雪をする方の年齢	回答内容
将来への不安	60～64 歳	今は夫が除雪機で家のまわりをきれいにしているが、年をとったら、どうしたらいいかわからない。
将来への不安	65～69 歳	今のところ問題ないが、さらに高齢になった場合心配である。
将来への不安	65～69 歳	一人暮らしの 65 才の男性ですが、除雪をいつまで一人で出来るか不安です。以上
将来への不安	65～69 歳	以前は少々の雪など苦にならなかったのですが、最近は雪の事を考えると苦痛になります。隣近所にも若い人が少なくなり、何かあっても頼めないのが実情です。業者をお願いするとお金がかかるし、補助金は少ないので、有償ボランティアなどの支え合いの組織や団体などをお願い出来ればと思っています。(近い将来)
将来への不安	65～69 歳	自分の家、敷地なので除雪しているが、除雪できなくなれば、他市町にいる子供に世話(移住する)になるしかないと思う。
将来への不安	65～69 歳	今の所は何とか出来ていますが、年をとっていけば徐々に出来なくなると考えます。近い内に他の人をお願いする事となると思っています。
将来への不安	70～74 歳	年令も老いて住宅も築 50 年位で古く弱くなっている。どうしようもない、困ったものです。家ごとつぶれ下敷になって死ぬのかなあー。雪おろし依頼するお金もない貧乏暮しです。ごめんね。ぐちばかり書いてしまいました。
将来への不安	70～74 歳	自分で除雪が出来なくなったらこの家には住めなくなると思うと不安である。
将来への不安	70～74 歳	私は 90 才のばあさんなので何にも出来ないの、雪が屋根に積った時は朝からストーブで暖めて、雪が落ちてから菖生にいる息子に来てもらって家のまわり除雪キで行ってもらいます。1 ヶ月に 5～6 回頼みます。中々大変です。あまり雪の降らない事を願ってます。
将来への不安	70～74 歳	今はまだ何とか出来るが、これから先どうなるか不安。
将来への不安	70～74 歳	老人家庭は冬期間が一番大変です。このままの状態が続けば除雪する人がいなくなり、女性だけでは生活することができなくなり移住も考えなければならない状況になります。冬期間の除雪(敷地内)を考えて欲しいです。(除雪ヘルパーなど)ありますが。
将来への不安	70～74 歳	今のところはなんとかやっているが、5 年後はどうなっているか非常に不安である。
将来への不安	70～74 歳	自家用タイヤショベルで除雪を行っている。運転出来るまでの事です。その後は？
将来への不安	75～79 歳	現在は自分で除雪機を使って何とかやっているが、①体力的にいつまで出来るか、②除雪機の老朽化で更新時期になっているが経費の出費が出来なく(自身透析者)で、200 万の出費は無理なので除雪機の町でのリース等を検討してもらいたい。最終的に自身で出来なくなれば外の地区への移転も考えざるをえない状況も検討しなければ、生活出来なくなると思われる。(残り 5 年)
将来への不安	80 歳以上	冬の雪の日はほんとうに大変で苦しみの毎日です。1 年 1 年と体が思うように動けなくなり不安ばかりです。
将来への不安	いない	玄関先の雪かたづけは今までは何とかしてきたけど、これからは無理になる。

分類	敷地内除雪をする方の年齢	回答内容
将来への不安	いない	・あとつぎ者いないのであき屋になった場合の対策がわからない。・老人のため、除雪機と雪下ろし出来なくなる。対策を。・死傷者が多いため対さくお願いします。
道路除雪・防雪柵・道路の消雪等	65～69 歳	町の除雪車が来てくれる事が大変ありがたいです。くれぐれも事故に注意して作業して下さい。これからもよろしくお願い致します。
道路除雪・防雪柵・道路の消雪等	70～74 歳	除雪車の来る時間がバラバラで、時間をある程度決めてほしいと思う。
道路除雪・防雪柵・道路の消雪等	70～74 歳	家の前の道路わきの雪を除雪機等で除雪した後に、道路の除雪車が除雪して行ってどっさり入り口に置かれて、また除雪機を出して来て行わないといけないので非常にこまります。
道路除雪・防雪柵・道路の消雪等	70～74 歳	一日雪降りですと、ブルが朝夕来てくれるのはうれしいのですが、玄関先に雪おいていかれるのがこまります。大変でしょうが、おいて行かない様、お願いしたいです。
道路除雪・防雪柵・道路の消雪等	70～74 歳	道路等の除雪時、田畑に積み上げるが(除雪車)春になったら確実な排雪をして欲しい。(こちらから要請しなくとも・・・)
道路除雪・防雪柵・道路の消雪等	75～79 歳	国道の除雪回数が多く車の出し入れするときの除雪が体にかかなり負担になり、体を(腰、肩等)痛める。高齢者の私にしては大変な作業です。町との座談会等でも、何十年と改善されることはなかった。今も続いています。
道路除雪・防雪柵・道路の消雪等	80 歳以上	道路除雪の玄関口に雪の固まりを山もり置いてゆき、その固りを除くのが年寄りに大変です。(きれいに除いてくれる方もいます。)ありがたい。 角度地なので毎年雪の山です。県道側の除雪で畑、雪の山、雪囲いの柱、板のおれがある。除雪前に元地を見てほしい。
道路除雪・防雪柵・道路の消雪等	80 歳以上	敷地内の除雪は除雪車の来る時間に合わせるようにしているが、道路と敷地との境にウイドロ状に残雪のままにならない様をお願いしたい。
道路除雪・防雪柵・道路の消雪等	80 歳以上	○消雪を徹底して流して欲しい。◎水路に水を流して欲しい。
道路除雪・防雪柵・道路の消雪等	80 歳以上	日中ブルで除雪の場合、高令者なので堅い大きな雪、除雪に苦勞するので、手加減してほしい。
道路除雪・防雪柵・道路の消雪等	いない	町の道路除雪のとき車庫前と玄関先(道路から各 5mぐら)を押していただくとありがたい。
道路除雪・防雪柵・道路の消雪等	いない	・歩道の雪は家に入れなくてほしい。(固くて運べない)・町に除雪をたのんでいるが、できれば毎日来てほしい。・雪で破損した部分(家の)を修理する際の補助制度がほしい。
道路除雪・防雪柵・道路の消雪等	いない	道路がせまくなる。(しょうせつの水がたいらに流れないため)
道路除雪・防雪柵・道路の消雪等	いない	除雪車により雪のかたいかたまりを排除するのが年寄いた自分には非常に困難でこまってしまう。(自宅に出入りする道路)の入口にどんと置いていかれると大変です。
除雪のマナーに関する事	65～69 歳	他人の敷地に除雪機で雪を飛ばしてくるマナーの悪い人がいる。マナーの啓もう、啓発が必要と思う。
除雪のマナーに関する事	80 歳以上	家の前が県道なので入り口にかたい雪が山になっているのがすごくこまります。

分類	敷地内除雪をする方の年齢	回答内容
除雪のマナーに関すること	80 歳以上	道路に除雪機でどんどん自分の家の雪を出す人がいる。道路が雪で一杯になり交通が大変混雑する。役所で注意して欲しい。特に、五、六年は椿駅前付近は米坂線の代行バスが来るので雪は絶対出さないように注意してほしい。特に除雪機のある方々に注意して欲しい。
アンケートに関すること	70～74 歳	その他の意見※アンケートの集計結果はどこに公開されるのかを記してアンケートを依頼した方がよいと思う。
アンケートに関すること	70～74 歳	1.答えにくい設問があるアンケートです。例えば、私の場合は敷地内の除雪は「基本的に一人で(独力で)やらざるを得ません」が、業者や近隣住民に有償(かなり高額)で依頼している割合も高いにもかかわらず、どちらか一方を選択しなければなりません。(問 20 以降)(問 5 では逆に 1 も該当)実際に即して答えることが困難だと思い、不満です。2.«えっ、またか…! ?»というのが正直なところです。今までも形を変えて類似のアンケートは実施されました。(今回よりもっと大雑把で口頭による(打診的)アンケート的なものが多いのですが…)その結果、何ら改善策が打ち出されてはいません。今回は、紙面による丁寧なアンケートだとは思いますが、記名も必要ないということは逆に今後何ら個別に対応して戴ける可能性もないのだろうと期待感薄を感じます。町として具体的な腹案はある上でのアンケートでしょうか?また、昨年まで除雪ヘルパー派遣も 2 度程使いましたが、県民・町民税が非課税や均等割の世帯のみの適要であり、しかもかなりの高額費用で多くの人が使えない制度ではありません。弱者はどこまでも孤独で弱者のままです。「飯豊で幸せになる!」と町は理想をうたっていますが、「どうしたらこの除雪困難な町を抜け出すか」を真剣に考える毎日です。P.S.委託先の KK で回答内容をすべて(割愛せず)町へ伝えてくださるよう要望します。
アンケートに関すること	70～74 歳	アンケート誠にご苦勞様です。「(仮称)飯豊町地域安全克雪方針」の具体的な計画及び実施等。当町の方針を是非、御指導を下される様町民の一人として雪下ろしや除雪をスムーズに出来る事をお祈り致します。以上(是非)繁榮されます様、期待しています。
アンケートに関すること	70～74 歳	アンケートは初めてなので良かった。私達老人に対しての思いやりで、アンケートによって、改善をしたいと行う思いが大変良くわかりました。町の思いやりをもっと行ってほしい!!
除雪の工夫	70～74 歳	雪が自然に落ちてくるうちはいいが、氷って固くなった物は落ちてこず、業者でも事故等を見聞きしているので、依頼するにもちゅうちよする。
除雪の工夫	75～79 歳	家族の生活が 75 才以上なので、早朝作業が冬季期間は 6:00～7:30 分までの時間帯を除雪機を使用し、屋根の雪を飛ばし日中は除雪作業は行わない事で雪による事故防止に努めて居ります。
除雪の工夫	75～79 歳	・屋根から落た雪は、かんじきをはいてふみ固め春をまつ。ざく々に成ったら整理して、少しずつ片付ける。
除雪の工夫	いない	自宅のまわりは広く、あき地があり除雪キで、とばしてます。
除雪の工夫	いない	屋根の作りを玄関前に雪が落ちない様に作る。2 階作りで家の前より後の方が長い屋根に作り雪が後の方に落ちる様に作る。

分類	敷地内除雪をする方の年齢	回答内容
除雪の工夫	いない	屋根の雪を下した後、除雪機でとばしてもらっています。
その他	60～64 歳	夏には水害、冬は大雪、一年中気が休まる時は少ない所です。とはいってもここにいる限りやらなくてはいけない。川があるので、割と助かってます。支援もまんべんなくしてほしい。
その他	65～69 歳	雪下ろしをしなくても良い屋根の構造にして、敷地内は地下水又は流水を利用して消すように出来ればいいのになあ～。
その他	65～69 歳	バックホーなど地域に 1 台あると有がたい。
その他	65～69 歳	雪おろし、除雪に関する支援制度がわかる資料がほしい。
その他	65～69 歳	屋根に上って雪下ろしている人はほとんどいません。(あっても部分的)
その他	65～69 歳	敷地内の除雪で宅道除雪をお願いしたいと思ったのですが、玄関前までは地下水で消雪しているので、そこまでは良いが玄関までない所が雪の山となり窓をふさいでしまうが、その除雪が私一人で自力でしなければならないので、玄関まででない所でも、月に 2 回くらい協力していただければいいのと思っています。
その他	65～69 歳	高令者世帯とはいくつからか？精神的にかなり負担。屋根の雪で、隣地や道路へ落ちないか不安。
その他	70～74 歳	玄関迄で距離が長いので雪払いが大変である。一部の町道である。雪除け M/C でないと払えない。人力では無理がある所である。
その他	70～74 歳	ボランティアに手助け願いたい。
その他	70～74 歳	宅道が 30m 位あり雪を捨てる場所がない。町に宅道除雪の依頼をしたが、体が不自由等がないとダメだとことわられた。町の公報には掲載されていたのがっかりした。年を取った人は住めないんだと思った。いつまで住めるか解らないので、リフォームもできない。冬の除雪支援がなければ一人で住む事は無理。
その他	70～74 歳	この雪国で土地境界線をこえるな、などと言われるのはつらいです。
その他	75～79 歳	家屋を高床式にすれば軽減できるが、資産税が高くなる為、中々、実施する人は少ない。行政が軽減等を政策として推奨すれば、違う展開になるのではないか。又、条件は、あると思うが地下水利用なども効果があると思う。
その他	75～79 歳	問 3 で雪下ろしが不要と〇印を付けましたが、問 15 は関係ないのでは。
その他	80 歳以上	毎年同じ事のくりかえし。別に変った事はない。3 年前のように降雪が少ない事、願う。
その他	80 歳以上	敷地内の除雪(屋根からの落雪後)に、苦勞。落雪によりすぐ積もり、家の屋根(ノキ)が痛む。等
その他	無回答	もう 10 年前以上前のことだが、道が拡幅されたことで、落雪の処分にこまっていることと、通行する人に危険がおよばないように除雪しているが心配です。本来は拡幅する時点でその辺も解決しておいてほしかった。親はそこまで気づかなかつたのだと思います。長男より
その他	いない	積雪の多い飯豊町として有効な対策を構築してください。一人暮らしの高齢者に優しい町であってください。
その他	いない	月に 2 回程度、敷地内の除雪を町にお願いしたい。
その他	いない	町内は、自宅以外に農業者も多く、作業場やハウスも有る。

分類	敷地内除雪をする方の年齢	回答内容
その他	いない	<p>主人はほとんど寝たきり状態であざみさんのヘルパーさんに色々とお世話になってる者ですが、12月すぎ～7月迄生保で面倒になってるんですが、自宅の除雪機で除雪して頂きしてるんですが、除雪して下さってる方にガソリンも買ってもらって、朝ほとんど毎日の様に昨年も除雪して頂きました。令和4年の12月～令和5年の1月～3月迄、家の前除雪、今年も来年もお願いして、心良く分かりました除雪してあげますよとの事ですが、お礼としてどうしたらと思うと除雪して下さってる人に申し訳なく思ってます。請求しない方なので面倒見の良い方なので、気持ちとしていくら位払ったら良いのか申し訳なくて心苦しく思ってる次だいです。</p>
その他	いない	<p>本町は、全国に誇れる屋敷林があります。しかしその殆どが杉で杉に付いた雪が強風で屋根に積もる状況になっている。切り倒すにも相当経費がかかります。また、本町には「みどり条例」が制定されており、景観が損なわれる行為は罰則は無いものの、何んの規制や町からの指導指示は無いのが現状である。古来より風除けに植えられて来た杉も住宅建築の向上で、近年は邪魔者になっている。</p>
その他	いない	<p>吹雪になると屋根に雪がたれ下がるので、その雪がおちないでこわいです。大きくなって垂れ下がる為。</p>

2-3 調査票等

(1) 依頼文

屋根の雪下ろし、敷地内の除雪に関するアンケート ご協力のお願い

飯豊町では、地域における雪に関する死傷事故の防止に向けて、地域の現状や町民の皆様のご意向を踏まえた、「(仮称)飯豊町地域安全克雪方針」の策定を計画しています。

そこで、町民の皆様から、ご家族でどのように屋根の雪下ろしや敷地内の除雪に取り組み、安全対策への心がけや、取組みに対する将来の不安などを把握するために、「屋根の雪下ろし、敷地内の除雪に関するアンケート」を実施することといたしました。この調査は町内にお住まいで60歳以上(令和5年1月1日現在)の方のみで構成される世帯を対象に実施するものです。いただいた回答は統計的に処理を行いますので、個人が特定される情報が明らかになることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

【回答期限】 令和4年10月31日(月)まで

<回答にあたってのお願い>

- (1) 同封の調査票にご記入の上、返送用封筒に入れて、返送してください。
切手の貼付け、住所氏名の記入は不要です。
- (2) 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。
- (3) 「その他」を選んだ場合は()内に具体的な内容をご記入ください。
- (4) この調査は、飯豊町が株式会社 協和コンサルタンツに委託しており、返送先は同社宛となっております。

●この調査に関する問合せ先

飯豊町 健康福祉課 福祉室

連絡先 TEL : 0238-86-2233 FAX : 0238-86-2230

メール : i-fukushi@town.iide.yamagata.jp

(2) 調査票

飯豊町 除雪ニーズ等アンケート調査票

1. あなたのご家族についてお聞きします。

問 1-1 あなたのお住まいの地域をお答えください。(1つに○)

1. 中地区	2. 萩生地区	3. 黒沢地区	4. 椿地区
5. 高峰地区	6. 手ノ子地区	7. 小白川地区	8. 添川地区
9. 松原地区	10. 中津川地区		

問 1-2 現在同居している家族の家族構成をお答えください。(1つに○)

1. 一人暮らし	2. 夫婦
3. 親子	4. 兄弟姉妹・親戚等と同居
5. その他(具体的に:)

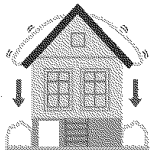
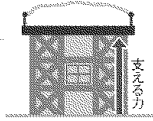

問 1-3 同居するご家族で屋根の雪下ろしや除雪を実施する方の「①性別」、「②年齢」、「③自宅の屋根の雪下ろしの有無」、「④自宅敷地内の除雪の有無」について、最高4人まで、それぞれお答えください。

<回答表> 屋根の雪下ろしや除雪を実施する方(年齢の高い方から記入、それぞれ1つに○)

ご家族	① 性別	② 年齢	③ 屋根の雪下ろし	④ 敷地内の除雪
1人目	1. 男性 2. 女性	1. 60~64歳 2. 65~69歳 3. 70~74歳 4. 75~79歳 5. 80歳以上	1. する 2. しない	1. する 2. しない
2人目	1. 男性 2. 女性	1. 60~64歳 2. 65~69歳 3. 70~74歳 4. 75~79歳 5. 80歳以上	1. する 2. しない	1. する 2. しない
3人目	1. 男性 2. 女性	1. 60~64歳 2. 65~69歳 3. 70~74歳 4. 75~79歳 5. 80歳以上	1. する 2. しない	1. する 2. しない
4人目	1. 男性 2. 女性	1. 60~64歳 2. 65~69歳 3. 70~74歳 4. 75~79歳 5. 80歳以上	1. する 2. しない	1. する 2. しない

2. お住まいについてお聞きします。

問2 あなたのお住まいは、克雪住宅のいずれかに該当しますか？（1つに○）

<p>1. 落雪式（高床落雪式）</p> <ul style="list-style-type: none">・屋根雪を人力によらず落下させる屋根構造を有し、敷地内で雪処理できるもの。・落雪により地上階の生活に支障をきたすため基礎を高くするものが多い。 	<p>2. 耐雪式</p> <ul style="list-style-type: none">・構造を強くして積雪に耐えられるようにしたもの。・構造計算等により所定の積雪量に耐える強度の構造にした住宅。 
<p>3. 融雪式</p> <ul style="list-style-type: none">・熱エネルギー（電気、ガス、灯油等）の利用により、屋根雪を溶かすことのできる施設を有するもの。・融雪範囲、方法、熱源等、いくつかの種類がある。 	<p>4. 1～3には該当しない</p>

出典：新潟県「克雪ガイドブック」

3. お住まいの「屋根の雪下ろし」についてお聞きします。

問3 お住まいの屋根の「雪下ろし」は必要ですか？（1つに○）

1. はい（→問4へ）	2. いいえ（→問15へ）
-------------	---------------

問4 （問3で「1. はい」と答えた方にお聞きします。）

過去2～3年の平均で、自宅の屋根の雪下ろしは、一年間に、何回行いましたか？（1つに○）

1. 1回	} (→問5へ)
2. 2回	
3. 3回	
4. 4回	
5. 5回以上	
6. 一度も行わなかった（→問15へ）	

問5 （問4で1～5と答えた方にお聞きします。）

屋根の雪下ろしは主に誰が行いましたか？（1つに○）

1. 自分または家族のみで行った（→問6へ）
2. 家族以外の人に行ってもらった（→問13へ）

問6 （問5で「1. 自分または家族のみで行った」と答えた方にお聞きします。）

雪下ろしは何人で行いましたか？（1つに○）

1. 1人（→問7へ）	2. 2人以上（→問8へ）
-------------	---------------

問7 (問6で「1. 1人で行った方」と答えた方にお聞きます。)
家族や近隣の住民等に声をかけてから行いましたか？(1つに○)

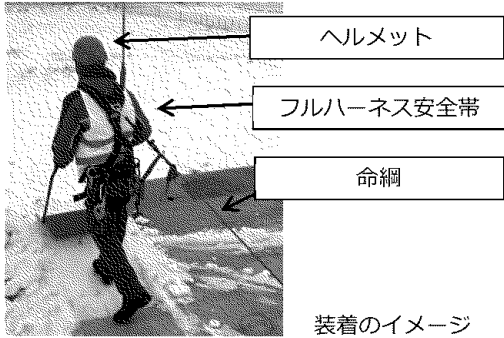
- | | |
|----------|-------------|
| 1. 声をかけた | 2. 声をかけていない |
|----------|-------------|

問8 **ご自身で屋根の雪下ろしを行った際、ヒヤリとしたことや事故にあったことはありますか？(あてはまる選択肢すべてに○)**

- | | |
|--|---|
| 1. ヒヤリとしたことがあった
2. ハシゴを昇り降りするときバランスをくずした
3. スコップやスノーダンプに体をとられた
4. 軒先や雪止めの位置が分からず、足を踏み外した
5. 屋根の上で滑った
6. さらに上の階などからの落雪やつららがぶつかった
7. その他のけがや事故(具体的に：
8. ヒヤリとしたことはない |) |
|--|---|

問9 **ご自身が雪下ろしを行う際、ヘルメットの着用や命綱、フルハーネス安全帯を装着しましたか？(1つに○)**

- | |
|---|
| 1. 全て装着した(→問10へ)
2. 命綱とフルハーネス安全帯を装着した(→問10へ)
3. 命綱とヘルメットを装着した(→問10へ)
4. 命綱のみ装着した(→問10へ)
5. ヘルメットのみ着用している(→問12へ)
6. その他(
7. 装着していない(→問11へ) |
|---|



問10 (問9で「1. いつも両方ともつけている」「2. 命綱とフルハーネス安全帯を装着した」「3. 命綱とヘルメットを装着した」「4. 命綱のみ装着した」と答えた方にお聞きます。)
命綱はどこに固定していますか？(あてはまる選択肢すべてに○)

- | | |
|--|---|
| 1. アンカー
2. 住宅の一部
3. 木の幹
4. 屋根雪で踏み固めた土嚢袋
5. その他(具体的に：
 |) |
|--|---|

問11 (問9で「7. 装着していない」と答えた方にお聞きます。)
ヘルメットの着用や命綱、安全帯を装着しなかった理由は何ですか？(あてはまる選択肢すべてに○)

- | | |
|--|---|
| 1. アンカーがないから
2. 毎年作業しており、慣れているから
3. 作業の邪魔になるから
4. 命綱の装着方法が分からないから
5. その他(具体的に：
 |) |
|--|---|

問 12 5年後、10年後も自分または家族のみで雪おろしができると思いますか？（1つに○）

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1. 10年後も雪下ろしは可能 | 2. 5年後はできるが、10年後はできない |
| 3. 5年後の雪下ろしはできない | 4. 分からない (→ 問 15 へ) |

問 13 (問 5 で「2. 家族以外の人に行ってもらった」と答えた方にお聞きします。)

屋根の雪下ろしは誰が行いましたか？(あてはまる選択肢すべてに○)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 親戚 | } (→ 問 15 へ) |
| 2. 近隣住民 | |
| 3. ボランティア(有償、無償問わず) | |
| 4. 業者 (→ 問 14 へ) | |
| 5. その他(その他: _____) | |

問 14 (問 13 で「4. 業者」に依頼したと答えた方にお聞きします。)

(1) 過去 2～3 年の平均で、一年間に、何度依頼しましたか？(1つに○)

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|---------|
| 1. 1回 | 2. 2回 | 3. 3回 | 4. 4回 | 5. 5回以上 |
|-------|-------|-------|-------|---------|

(2) 1回あたりの費用はどのくらいかかりましたか？(1つに○)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 10,000 円未満 | 2. 10,000 円～20,000 円未満 |
| 3. 20,000 円～50,000 円未満 | 4. 50,000 円～80,000 円未満 |
| 5. 80,000 円～100,000 円未満 | 6. 100,000 円以上 |

4. 命綱を結ぶための設備(アンカー)についてお聞きします。

問 15 アンカーを知っていますか？(1つに○)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 16 自宅の屋根にアンカーは設置されていますか？(1つに○)

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 設置されている (→ 問 19 へ) | 2. 設置されていない (→ 問 17 へ) |
|-------------------------|--------------------------|

(参考) 主なアンカーの事例



棟部単管型



屋根馬単管型



屋根馬ワイヤー型

出典：新潟県「命綱固定アンカーガイドブック」

問 17 (問 16 で「2. 設置されていない方」と答えた方にお聞きします。)

アンカーを今後設置する予定はありますか？(1つに○)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. ある (→ 問 19 へ) | 2. ない (→ 問 18 へ) |
|--------------------|--------------------|

問 18 設置しない理由は何ですか？(あてはまる選択肢すべてに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 費用がかかるため |
| 2. 設置の仕方が分からない(どこに頼めばよいか分からない) |
| 3. 命綱がなくても雪下ろしができるため |
| 4. 雪下ろしの作業の邪魔になるため |
| 5. その他(具体的に: _____) |

5. 「敷地内除雪」についてお聞きします。

問 19 過去2～3年の平均で、「敷地内除雪」はどのくらい行いましたか。

(1) 多い月で、ひと月に何日行いましたか？(1つに○)

- | | |
|---------------|----------|
| 1. 0日(行わなかった) | 2. 5日程度 |
| 3. 10日程度 | 4. 15日程度 |
| 5. 20日程度 | 6. 25日程度 |
| 7. ほとんど毎日 | 8. 分からない |

(2) 1日あたりの平均回数は何回ですか？(1つに○)

- | | | |
|---------------|----------|-------|
| 1. 0回(行わなかった) | 2. 1回 | 3. 2回 |
| 4. 3回以上 | 5. 分からない | |

問 20 敷地内除雪は主に誰が行いましたか？(1つに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 自分または家族のみで行った (→ 問 21 へ) |
| 2. 家族以外の人に行ってもらった (→ 問 26 へ) |

問 21 (問 20 で「1. 自分または家族のみで行った」と答えた方にお聞きします。)

敷地内除雪は何人で行いましたか？(1つに○)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 1人 (→ 問 22 へ) | 2. 2人以上 (→ 問 23 へ) |
|--------------------|----------------------|

問 22 (問 21 で「1. 1人で行った方」と答えた方にお聞きします。)

家族や近隣の住民等に声をかけてから行いましたか？(1つに○)

- | | |
|----------|-------------|
| 1. 声をかけた | 2. 声をかけていない |
|----------|-------------|

問 23 敷地内除雪の方法は何ですか？（あてはまる選択肢すべてに○）

1. 人力で除雪	2. 除雪機
3. 車両による運搬排雪	4. 地下水による消雪
5. 流雪溝に排雪	
6. その他（具体的に： _____）	

問 24 ご自身で敷地内除雪を行った際、ヒヤリとしたことや事故にあったことはありますか？（あてはまる選択肢すべてに○）

1. ヒヤリとしたことがあった	
2. 除雪を行う際に滑って転倒した	
3. スコップやスノーダンプを体にぶつけた	
4. 屋根からの落雪やつらがぶつかった	
5. 雪だまりに足を取られて動けなくなった	
6. 除雪車等に体の一部を巻き込まれた	
7. その他のけがや事故（具体的に： _____）	
8. ヒヤリとしたことはない	

問 25 5年後、10年後も自分や家族のみで敷地内除雪ができると思いますか？（1つに○）

1. 10年後も敷地内除雪は可能	2. 5年後はできるが、10年後はできない
3. 5年後の敷地内除雪はできない	4. 分からない（→問28へ）

問 26 （問20で「2. 家族以外の人に行ってもらった」と答えた方にお聞きします。）敷地内除雪を主に行ったのは誰ですか？（あてはまる選択肢すべてに○）

1. 親戚	}（→問28へ）
2. 近隣住民	
3. ボランティア（有償、無償問わず）	
4. 業者（→問27へ）	
5. その他（具体的に： _____）	

問 27 （問26で「4. 業者」に依頼したと答えた方にお聞きします。）

（1）昨冬は、一年間に、何度依頼しましたか？（1つに○）

1. 1～5回	2. 6～10回	3. 11回以上
---------	----------	----------

（2）1回あたりの費用はどのくらいかかりましたか？（1つに○）

1. 10,000円未満	2. 10,000円～20,000円未満
3. 20,000円～50,000円未満	4. 50,000円～80,000円未満
5. 80,000円～100,000円未満	6. 100,000円以上

(2)「敷地内の除雪」について（あてはまる選択肢すべてに○）

1. 雪かきをできる人がいない（体力がない）	2. けがの危険性がある
3. 雪が重くて運んだり捨てられない	4. すぐにまた積もってしまう
5. 足元が滑りやすい	6. 腰などを痛めやすい
7. 雪かきに時間がかかる	8. 雪かきをする時間がない
9. 固まった雪を崩せない	10. 雪を捨てる場所がない
11. 業者に頼んだ場合の費用が高い	12. 植木等が折れる
13. その他（具体的に： _____）	

問 31 屋根の雪下ろしや敷地内除雪について、個人、家族、または地区などで工夫していることや心がけていることがあれば教えてください。（あてはまる選択肢すべてに○）

1. 近所と協力して行う
2. 除雪車が来る時間に合わせて行う
3. 屋根にペンキを塗り落雪しやすくする
4. ためると大変なので、定期的に行う
5. 塩（材）をまく
6. 玄関前などはロードヒーティングや水を流しておく
7. その他（具体的に： _____）

問 32 屋根の雪下ろしや敷地内の除雪等について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

4. 先進事例

3-1 事例概要

ここでは、全国の豪雪地帯等で行われている除排雪作業中における事故を防止するための取り組みについて、それらの概要を整理しました。

取り組みは、大きく分けて事故防止に関わる「安全対策」と支援員派遣等の「人的支援」、そして、安全作業を行うための「ガイドブック作成や様々な普及活動」に分類しました。なお、事故防止に関わる取組と直接的な関係ではないが、「地域連携」、「組織づくり」等についても参考事例を加えました。

図表 事例概要

No	取組名	実施主体・自治体名	安全対策	人的支援	普及活動	地域連携	組織づくり
1	雪下ろし安全10箇条	国土交通省 地方振興課	○		○		
2	克雪体制づくりアドバイザー派遣制度	国土交通省 地方振興課		○			
3	雪おろシグナル	防災科学技術研究所	○				
4	コロナ期における雪かき活動ガイドライン	日本雪工学会			○		
5	国際スポーツ雪かき選手権	日本スポーツ雪かき連盟			○	○	
6	高齢者宅の除雪を行うたすけあいチームの拡大	北海道美幌町		○		○	○
7	流雪溝を活かすインフラツーリズムで担い手確保と共助体制の強化	北海道苫前町				○	○
8	あなたの命を守る雪下ろし除排雪作業の安全対策	秋田県	○		○		
9	高齢者世帯の雪寄せ作業員を募集	秋田県横手市		○		○	
10	NPOが中心となった除雪ボランティア組織	山形県飯豊町		○		○	○
11	スマイル・スノー・プロジェクト	山形県大蔵村			○	○	
12	有償ボランティアによる早くて安いオンデマンド除雪	山形県大石田町		○		○	○
13	屋根雪下ろし命綱固定アンカーガイドブック	新潟県	○		○		
14	簡易な「命綱」、「アンカー」設置工法	NPO法人 中越防災フロンティア	○		○		○
15	有償ボランティアのマッチング及び派遣システムの運営	NPO法人 中越防災フロンティア		○		○	
16	広報誌により市民への雪の備えを促す	福井県福井市			○	○	
17	除雪ボランティアセンターの設置・運営	長野県				○	○
18	安全な屋根雪除雪のためのアンカー設置モデル事業	長野県長野市	○				○
19	地域内の遊休施設を再活用した高齢者の冬期移住	岐阜県高山市				○	

No	取組名	実施主体・自治体名	安全対策	人的支援	普及活動	地域連携	組織づくり
20	安全な除雪に向けた用具の貸出し、講習会・ワークショップの実施	青森県青森市	○		○		
21	雪かき情報サイト「雪かきのコツおしえます。」	さっぽろウィンターライフ推進協議会	○		○		
22	2 地域間におけるお労力交換	山形県酒田市日向地区 山形県鶴岡市三瀬地区		○		○	

3-2 事例

(1) 雪下ろし安全 10 箇条

実施主体	国土交通省地方振興課
取組概要	除雪作業中の事故における要因として最も多い屋根からの転落事故のほか、 転倒事故、除雪機による事故、屋根から落雪による事故、水路等への転落事故などの防止のための注意事項 を「雪下ろし安全 10 箇条」として取りまとめています。

国土交通省 国土政策局 地方振興課

雪下ろし安全 10 箇条 ～除雪作業中の事故に注意しましょう～

国土交通省では、除雪作業中の事故における要因として最も多い屋根からの転落事故のほか、転倒事故、除雪機による事故、屋根から落雪による事故、水路等への転落事故、発症などの防止のための注意事項を「雪下ろし安全 10 箇条」として取りまとめています。

1.安全な装備で行う（最重要！！）



- 安全な装備は、屋根からの転落などの**事故を未然**に防ぎます。
- 安全帯は、腰全体を支えるハーネス型や体全体を支える**フルハーネス型**を使用。
- 命綱は、ザイルロープなど丈夫なものを**屋根の上で止まる長さ**で正しく結ぶ。
- 命綱の**一端は**、アンカー（無い場合は雪下ろしをする屋根の反対側の柱や固定物）に**しっかり固定**する。
- ヘルメットは、あごひもを締め、長靴は、滑りにくいものを使用し、動きやすい服装で作業する。
- これらの装備は、ホームセンターや登山キャンプ用品店などで購入できます。

2.はしごは固定する



- はしごが**転倒**することがあるため、**必ずしっかり固定**する。
- 足をしっかり固め、ロープや器具を使用。
- はしごは、斜めに立てかけず、屋根に対して**決められた角度**でまっすぐ立てる。
- はしごの長さは、軒先から少し高くかける。
- はしごの昇り降りには注意し、**はしごから屋根に移動するときは特に注意**。
- はしごの上で雪庇を落とすなどの作業は危険なため、絶対にやめましょう。

3.作業は 2 人以上で行う



- 1 人での作業は、事故が発生した際に、発見が遅れる可能性がある。
- 発見が遅れると重大な事故につながる危険性が高くなる。
- 家族や親戚と一緒に**複数人で除雪作業**を行う。
- 近所の方や地域コミュニティと協力**して作業を行う共同による除雪活動も重要。

4.足場の確認を行う



- 屋根の**雪止めの位置を確認**してから作業を行う。
- 落雪に巻き込まれないように、**屋根の上から下ろす**。
- 滑りにくくするよう、雪は少し残して作業する。
- 晴れていて気温が高い日は、滑りやすくなるため、特に注意。
- 水路等に転落する事故も増えているため注意。

5.雪下ろしのときは周りに雪を残す



- 屋根から転落した際に、地面、アスファルト、コンクリート等に**弾打**すると、被害が大きくなる可能性がある。
- 落下した場所に積雪があることで被害を軽減**することができる場合がある。
- 屋根の雪下ろしを行う場合は、雪下ろし後に住宅周りの除雪を行う。

6.屋根から雪が落ちてこないか注意する



- 屋根から雪が落ちてくる可能性があるため、住宅の周りで**除雪する際に軒下では注意**。
- 屋根に雪が積もって時間が経つと、氷のように堅くなり、直撃すると非常に危険。
- 新雪や晴れて暖かい日のゆるくなった雪は特に注意。
- 屋根雪を人力によらず落下させる落雪式住宅の場合は特に注意。

7.除雪道具や安全対策用具の手入れ点検を行う



- スコップやスノーダンプなどの除雪道具は、雪がつきにくくなるスプレーを使用するなど使いやすくしておく。
- 除雪道具や安全対策用具が古くなり、壊れていないか**定期的に点検**しましょう。

8.除雪機の雪詰まりはエンジンを切ってから棒などで取り除く



- 雪が詰まったときは、**必ずエンジンを切**ってから雪を取り除く。
- つまりを取り除くときは、棒などを使用する。
- 素手で取り除くのは、非常に危険なため絶対やめましょう。**
- レッドマンクラッチ（安全装置）をひもで縛るなど、無効化することによる事故が増えています。絶対にやめましょう。

9.携帯電話を身につける



- 事故が発生したときは、動くことができなくなる場合があります。
- 携帯電話を身につけることで、緊急時でも家族や緊急医療機関などにすぐに連絡をとることができます。**

10.無理はしない



- 除雪作業は重労働です。**体調が悪いときは、除雪作業を行わない。**
- 作業前には、準備運動を行う。
- こまめに休憩をとりながら作業を行う。
- 寒い屋外での重労働による発作など発症の危険性があるため**無理をしない。**

～除雪作業中の事故を減らすために～
自分の経験や体力を過信せず、家族や地域で声を掛け合いながら、万全の安全対策で行いましょう。



←

除雪 10 箇条

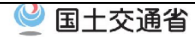
「雪下ろし安全 10 箇条」は動画でもご覧いただけます。

[資料：雪下ろし安全 10 箇条（国土交通省地方振興課）]

(2) 克雪体制づくりアドバイザー派遣制度

実施主体	国土交通省地方振興課
取組概要	除排雪体制の整備及び除排雪に関する 安全対策の専門的な知識や豊かな経験を有する者 を「克雪体制づくりアドバイザー」として、克雪体制づくりの課題に直面している 豪雪地帯の道府県・市町村や各種団体等 に対して派遣し、 適切な助言等 を行っています。

克雪体制づくりアドバイザー派遣制度



除排雪体制の整備及び除排雪に関する**安全対策の専門的な知識や豊かな経験を有する者**を「**克雪体制づくりアドバイザー**」として、克雪体制づくりの課題に直面している**豪雪地帯の道府県・市町村や各種団体等**に対して派遣し、**適切な助言等**を行います。

「克雪体制づくり」とは…

- 地域ぐるみで行う除雪作業や除雪ボランティアの受入れ等

共助による除排雪活動



除雪ボランティアによる除雪活動

- 安全対策を徹底するための講習会や注意喚起等

除雪作業の安全対策を徹底する活動

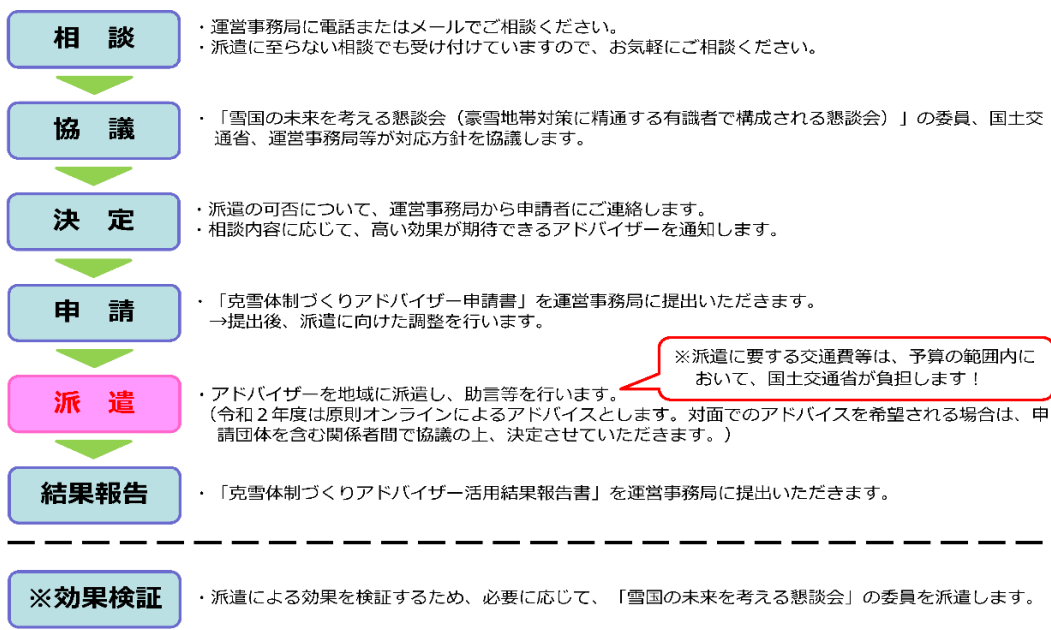
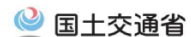


雪下ろし安全講習会



を行う体制づくりをいいます。

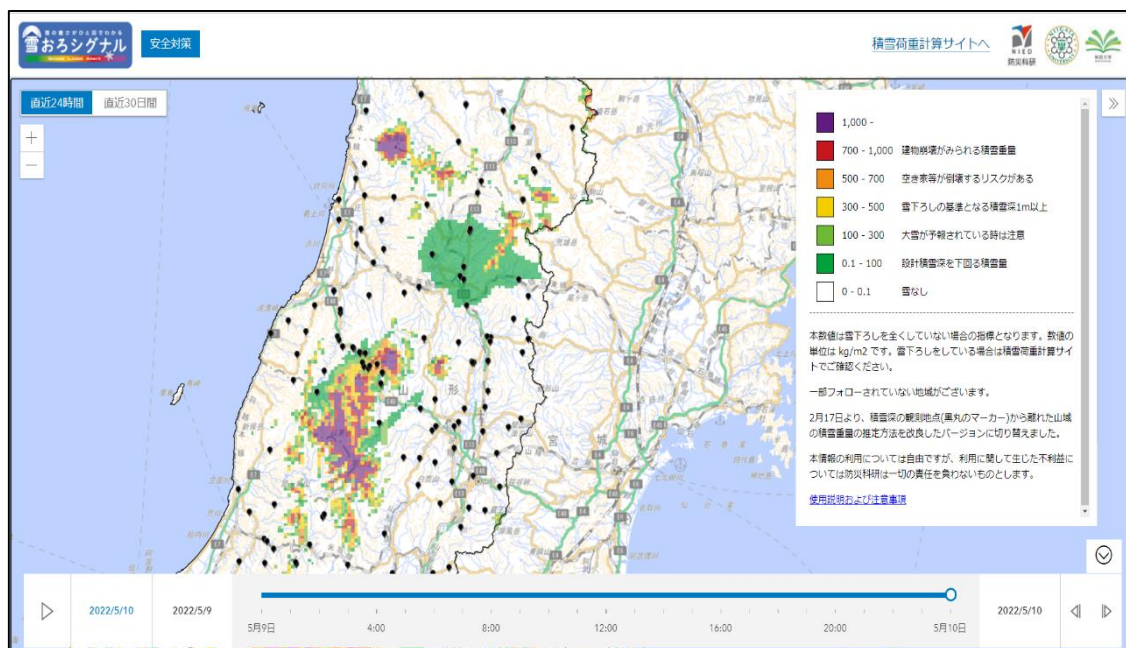
申請から派遣までの手続き



〔資料：令和2年度 克雪体制づくりアドバイザー派遣制度（国土交通省）〕

(3) 雪おろシグナル

実施主体	国立研究開発法人 防災科学技術研究所雪氷防災研究センター
取組概要	<p>中山間地域では、過疎化高齢化が進行し、雪下ろしが困難となり、雪の重みによる空き家の倒壊も多発しています。雪は気温等の気象条件や降り積もってからの経過時間により密度が大きく変化しますが、防災科学技術研究所等で開発されたこのシステムを活用し、雪下ろし作業のタイミングを適切に判断し、雪氷災害を軽減することができます。</p> <p>2018年1月に新潟県、2019年1月に山形県及び富山県で活用を開始しました。「雪おろシグナル」は、国土地理院地図上に分布図として表示されるほか、積雪荷重計算サイトにおいて、特定の地域における現在の積雪重量や、雪下ろしを実施した日を指定することでそれ以降に堆積した雪の量から現在の積雪重量を知ることが可能となります。</p>



最小値 (kg/m ²)	最大値 (kg/m ²)	色	備考
1000	∞	紫	
700	1000	赤	建物倒壊がみられる積雪重量
500	700	橙	
300	500	黄色	雪下ろしの目安となる積雪重量
100	300	黄緑	
0.1	100	緑	設計積雪深を下回る積雪重量
0	0.1	無色	雪なし

[資料：雪おろシグナル（国立研究開発法人 防災科学技術研究所雪氷防災研究センター）]

(4) コロナ期における雪かき活動ガイドライン

実施主体	日本雪工学会
取組概要	<p>コロナ期における雪かき活動（除雪ボランティア、共助除雪、一斉雪下ろし、除雪安全講習など）の実施・継続に向けて、日本雪工学会より公表されたものです。</p> <p>コロナ期における雪かき活動の基本方針から、具体的な雪かき活動に伴う感染症予防対策チェックリストまで記載されています。</p>

ガイドラインの基本方針

with after コロナ期における雪かき活動の基本方針は、以下のとおりとします。

- あらゆる場面で、まず感染症予防対策を徹底する。
- 関わるすべての人が安心感と納得感を得られるように。
- 受援者と除雪ボランティアの交流を途切れさせない。

感染症予防対策チェックリスト (活動団体・受入地域用) (1/2)

確認日	確認者氏名			
確認日	確認者氏名			
項目	大項目	チェック項目	ガイドライン 中項目	チェック
活動 前	活動団体・ 受入地域の 受入体制 準備	活動方針（実施の目的、除雪ボランティアの募集範囲、除雪ボランティアの人数等）について、地域の関係団体と連絡や調整はとれていますか？ (関係団体：)	5p, 7p	<input type="checkbox"/>
		地域の関係団体との連絡や調整は、オンラインを活用するなどして感染症リスクに配慮していますか？	5p	<input type="checkbox"/>
		受援者や地域からの困り事やニーズを把握していますか？	5p, 7p	<input type="checkbox"/>
		活動の実態について受援者のみだけでなく近隣住民の理解も得ていますか？	5p, 7p	<input type="checkbox"/>
		活動が中止となった場合、受援者の置き作業を代替する手段は手配できますか？	7p	<input type="checkbox"/>
		雪かき活動中の事故等に備え、備蓄設備突発などに加入していますか？	-	<input type="checkbox"/>
		新型コロナウイルスに感染した場合、上掲対策が適用されるかを確認しましたか？	-	<input type="checkbox"/>
		スタッフが感染した（感染させた）もしくは濃厚接触者となった場合の対応手順（連絡体制、感染対策、リスク管理など）を決めていますか？	5p, 7p	<input type="checkbox"/>
		除雪ボランティアが感染した（感染させた）もしくは濃厚接触者となった場合の対応手順（連絡体制、感染対策、リスク管理など）を決めていますか？	5p, 7p	<input type="checkbox"/>
		メディアなどの外部への対応方針や対応者を決めていますか？	-	<input type="checkbox"/>
移動・巡回・ 会場（該当 する場合）	移動・巡回・ 会場（該当 する場合）	活動に関連する人（受援者、除雪ボランティア、活動団体・受入団体）の移動手段、行動を規制などのルール（乗車や乗船の人数、体感不良の時の対応方法等）を決めていますか？	5p	<input type="checkbox"/>
		感染症予防対策を徹底している移動手段を確保していますか？	4p	<input type="checkbox"/>
		感染症予防対策を徹底している宿泊施設を確保していますか？ (宿泊施設名：)	4p	<input type="checkbox"/>
		感染症予防対策を徹底している会場を確保していますか？ (会場施設名：)	4p	<input type="checkbox"/>

除雪ボランティアの方々へ
感染しない・感染させない
新型コロナウイルス対策にご協力ください！
(令和3年12月版)

使用例

一般的な対策

- こまめに手を洗いましょう
- 入室時は、アルコール消毒をしましょう
- 大きな声での会話はひかえましょう
- 不織布マスクの着用をお願いします
- 密閉、密集、密接を避けましょう
- 受付時、連絡先や健康状態の記入をお願いします
- 受付時の検温にご協力をお願いします
- ゴミは各自で持ち帰りましょう

雪かき活動ならではの対策

- 自宅と会場との移動中も、予防対策を徹底しましょう
- 作業中は一定の距離を保てれば外してもOK、マスク無しで会話はNG
- 雪かき活動中、除雪用具の貸し借りは控えましょう
- 受援者の方と直接接触しないようにしましょう

団体名：●●地区雪かき隊 実行委員会
作成：日本雪工学会 除雪安全行動研究委員会

[資料：2021年 コロナ期における雪かき活動ガイドライン（日本雪工学会）]

(5) 国際スポーツ雪かき選手権

実施主体	一般社団法人 日本スポーツ雪かき連盟
取組概要	<p>「国際スポーツ雪かき選手権」は、2013年に高齢化によって深刻化する除雪問題を解決したいという想いから始まりました。除雪を通して高齢者の手助けをして、地域の子供たちと高齢者との交流を促進し、地域コミュニティを活性化させるために活動しています。</p> <p>リモートで参加する仕組みも考え、事前にエントリーし、ご近所での雪かきを Zoom に配信するだけで参加できるというユニークな内容となっています。</p>



[資料：日本スポーツ雪かき連盟 ホームページ（一般社団法人 日本スポーツ雪かき連盟）]

(6) 高齢者宅の除雪を行うたすけあいチームの拡大

実施主体	北海道美幌町
取組概要	町の高齢化に伴い冬の除雪活動が大きな課題になると予想されたため、 社会福祉協議会で発案 したもので、道南で行われていた住民主体の活動を参考に、チームによる除雪の必要性を各自治会長に説明し、高齢者宅の除雪を行う「 たすけあいチーム 」が 自治会単位で組織 されています。たすけあいチームの活動は高齢化の進展に伴い拡大し、現在では 会食会の開催等による高齢者の元気づくり も行っていきます。

行政支援のもと自治会・集落等が取組む事例

4 高齢者宅の除雪を行うたすけあいチームの拡大 北海道美幌町

- 美幌町では**高齢者宅の除雪を行う「たすけあいチーム」が自治会単位で組織**されている。
- たすけあいチームの活動は**高齢化の進展にともなって拡大**。現在では**会食会の開催等による高齢者の元気づくりも**行っている。

【取組の経緯】

- 平成4年に、高齢化社会においては冬の除雪活動が大きな課題となると見込んだ当時の**社会福祉協議会事務局長が発案**。
- 道南で行われていた住民主体の活動を参考に、**チームによる除雪の必要性を各自治会長に説明、賛同した14地区で最初のチームが立ち上げられた。**

【主な取組と成果】

- 自治会の役員、民生委員、ボランティア、福祉推進委員らで構成されたチームが、高齢者等への除雪支援活動を実施。**
- 除雪支援からはじまった取組だが、現在では除雪活動のほか、**安否確認、会食会等の開催、緊急時用の情報カード作成等も**行っている。

<除雪活動>

高齢者等の緊急避難経路の確保を目的に、**小型除雪機やスコップ等を用いた除雪を実施**。平成21年度より町が家庭用除雪機貸与事業を開始、平成22年度には6地区、平成23年度には11地区が活用した。

<補助>

チームの運営にあたっては、美幌町社会福祉協議会から**実績に応じた年1回の活動助成金**が支払われている(上限100万円)。また、助成金の交付にあたっては、社会福祉協議会が町役場から半分(上限50万円)の補助を受け、残りを社協の予算から拠出して対応している。

【今後の課題】

- チーム発足当時からメンバーの替わらないチームも多く、**チームメンバーの高齢化が問題**となっている。

【たすけあいチームの概略(出典:美幌町資料)】

【活動者数推移】(参照:美幌町資料)

年度	活動チーム数(実動)	活動者人数
平成4年度	15チーム	200人
平成9年度	22チーム	255人
平成14年度	31チーム	367人
平成19年度	26チーム	358人
平成23年度	32チーム	506人



[資料：平成24年度 共助・公助による地域除雪の取組事例(国土交通省)]

(7) 流雪溝を活かすインフラツーリズムで担い手確保と共助体制の強化

実施主体	北海道苫前町
取組概要	<p>「流雪溝を利用する沿道住民の減少」という問題認識から出発し、投雪ボランティアツアーや勉強会などを毎年積み重ね、「流雪溝の問題ではなくコミュニティの課題」であることを認識しました。</p> <p>古丹別地区において雪処理の課題解決を担う団体やキーパーソンの輪が広がり、「雪かきからはじまる地域づくり」へと発展しています。</p>

事例 1 流雪溝を活かすインフラツーリズムで担い手確保と共助体制の強化

北海道苫前町

降雪状況	必ず大雪	ほぼ大雪	たまに大雪	まれに大雪
除雪場所	歩道	間口	住宅周り	屋根
除雪の役割	日常的な除排雪		日常を補完する除排雪	
担い手	地区住民	学生・企業	周辺地域	広域
活動内容	共助除雪	安全講習	会議・会合	シンポジウム
	資器材整備	調査	人材確保	組織づくり

実施主体 苫前町まちづくり企画
(活動地域：北海道苫前町)

自治体 北海道苫前町 人口：3,265人 (増減率：-10.7%) ※1
世帯数：1,420世帯 (増減率：-6.6%) ※1
高齢化率：39.1% (増減：+2.5%) ※1
降雪量：611.9cm (冬期間累計) ※2
※1 平成27年国勢調査、増減率=(H27の値-H22の値)÷H22の値
※2 最寄りの観測所のH21～30平均値

きっかけ

- 苫前町古丹別地区は、高齢化や過疎化により、流雪溝の利用が減少し、住宅周りや道路が除雪後の堆雪で歩行者の通路を確保できないことが課題となっている。
- 平成28年度より、流雪溝の運用方法を再確認し、地区内の共助体制強化のため、域外ボランティアを活用し、「流雪溝を活用した除排雪活動のボランティアツアー（投雪ボランティアツアー）」を実施してきた。

取組内容

- 「流雪溝を考える会」及び「インフラツーリズムの勉強会」を開催し、流雪溝の運用改善及び投雪ボランティアツアーの実施に向けた検討を行った。
- 「苫前くらし体験ツアー～冬編～」を企画・実施し、古丹別地区において、除雪ボランティアによる流雪溝投雪活動を行った。
- 上記の体験ツアーをきっかけとして、地元高等学校の学生を対象にした古丹別地区の流雪溝に関する学習会を開催し、地域内共助の底上げに取り組んだ。

主な成果

- 勉強会等の開催により、地元高等学校をはじめ、既存の地域関係団体との連携関係が密になり、地域内共助機能の底上げが図られた。
- 地元高等学校とは流雪溝を活用した共助除排雪体制の構築のみだけでなく、学習機会としての活用の方向性も検討・確認できた。
- これまでのツアーにインフラ見学や暮らし体験の要素を入れたことで、住民が地域を振り返る機会となり、コミュニティの再構築に繋がった。また、地元旅行会社とのタイアップにより、自立・自律に向けた基盤ができた。

ポイント

- 「流雪溝を利用する沿道住民の減少」という問題認識から出発し、投雪ボランティアツアーや勉強会などを毎年積み重ね、「流雪溝の問題ではなくコミュニティの課題」であることを認識。
- 古丹別地区において雪処理の課題解決を担う団体やキーパーソンの輪が広がり、「雪かきからはじまる地域づくり」へと発展。

<運営体制>

※過年度からの体制拡充

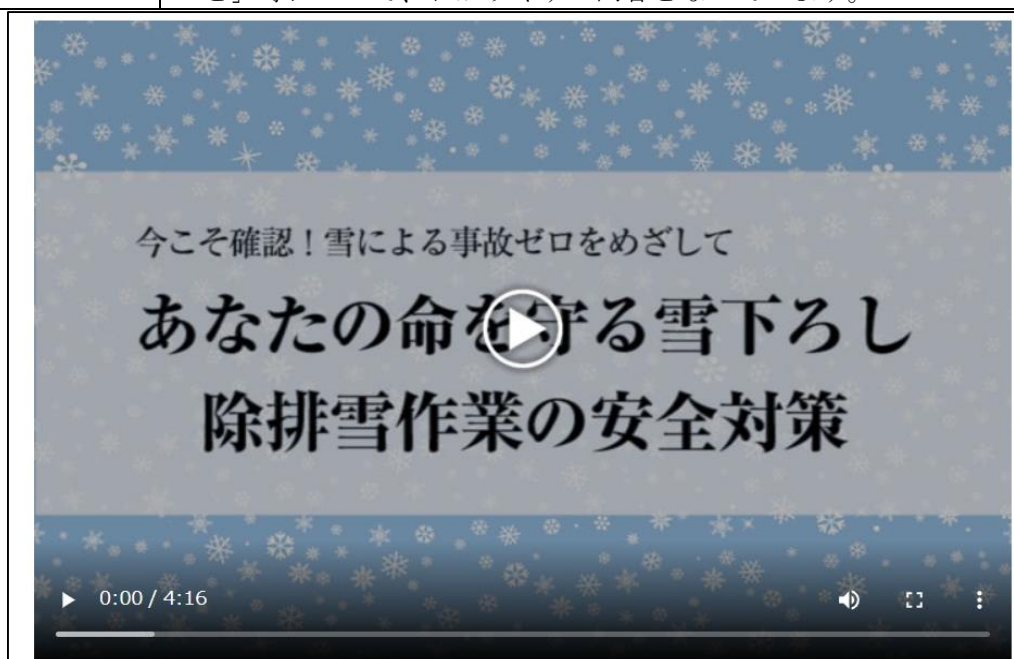
除雪作業後の記念写真

〔資料：令和2年度 安全安心な克雪体制づくり取組事例集（国土交通省地方振興課）〕

- 資料-56 -

(8) あなたの命を守る雪下ろし 除排雪作業の安全対策

実施主体	秋田県総務部総合防災課
取組概要	<p>秋田県では、住宅の克雪化や屋根の雪下ろし等除排雪作業の安全対策のほか、除雪ボランティア活動の促進や、新たな除排雪の担い手の育成を促進するなど、積雪期における高齢者等の安全・安心な生活の確保に努めております。</p> <p>広く県民や関係者の理解を促すため、「あなたの命を守る 雪下ろし除排雪作業の安全対策」と題して、動画の公開も行っています。</p> <p>動画は、命を守るポイントとして、「作業は2人以上で行うこと」や「ハシゴを正しく固定すること」、「命綱とヘルメットを必ず装着して作業すること」、「こまめに休憩をとること」、「晴れている日ほど注意すること」等について、わかりやすい内容となっています。</p>



[資料：あなたの命を守る 雪下ろし除排雪作業の安全対策（秋田県総務部総合防災課）]

(9) 高齢者世帯の雪寄せ作業員を募集

実施主体	秋田県横手市市民福祉部高齢ふれあい課
取組概要	秋田県横手市では、 高齢者世帯の雪寄せ作業を行っていただける一般の方（個人、事業者、自治会、共助組合など）を募集 しています。 市と業務委託契約を締結し作業 を行うこととしており、内容は、市の除雪車が早朝道路除雪に出動した日に、一日1回、道路間口から玄関までの雪寄せ作業を行い、 委託料はワンシーズン1世帯あたり36,300円から となっています。



①個人での応募			
ふりがな		電話番号	
氏名			
住所	横手市		
②団体・事業所での応募			
団体・事業者名		構成員数	人
ふりがな		代表者 電話番号	
代表者 氏名			
代表者 住所	横手市		

[資料：令和3年度 横手市一人暮らし高齢者等雪寄せ支援事業（横手市市民福祉部高齢ふれあい課）]

(10) NPO が中心となった除雪ボランティア組織

実施主体	NPO 法人まちづくりいいで (山形県飯豊町)
取組概要	<p>地区自治会、民生委員等の関係団体と連携し、調査委員会を組織し NPO 法人が事務局を担いアンケート等の調査を実施し、「除雪カルテ」として整理した上、調査委員会は行政・民生委員・自治会等と協議を行い、支援の内容・報酬等について整理しています。</p> <p>また、地域内での有償ボランティアの担い手の確保を目的とし、除雪ボランティア活動を試行的に実施しています。</p>

事例 4 NPOが中心となった除雪ボランティア組織 づくりのための実態調査及び実験的支援活動

除雪状況	必ず大雪	ほぼ大雪	たまに大雪	まれに大雪
除雪場所	歩道	開山	住宅周り	壁根
除雪の頻度	定期的な除雪	日常的な除雪	日常を補完する除雪	
担い手	地区住民	学生・企業	河川地域	広域
活動内容	共同除雪	安心講習	調査・研修	シンポジウム
	防災研修	講習	人材育成	研修づくり

実施主体 NPO法人まちづくりいいで
[活動地域：山形県飯豊町]

自治体 山形県飯豊町

人口	6,615人	(増減率：-9.4%)	※1
世帯数	2,125世帯	(増減率：-0.0%)	※1
高齢化率	38.8%	(増減率：+4.0%)	
降雪率	604cm	(冬期間累計)	※2

※1令和2年国勢調査、増減率=(R2の値-R1の値)/R1の値×100
※2飯豊町の観測所の1991～2020年の平均値

きっかけ

- 町の高齢化に伴い、個人宅の間口除雪も困難な状況になっているため、行政が間口除雪や屋根の雪下ろし支援などに補助金を設けているものの、担い手不足が原因で対応の遅れなどが苦慮している。
- 令和2年度は、NPO法人が運営主体となり、特に高齢者のみの世帯を中心に、実態調査を行い、除雪困難世帯の実状について把握し、除雪体制の仕組みを定着させることを担い、除排雪等の内容や基準の取り決めを行った。

取組内容

- 地区自治会、民生委員等の関係団体と連携し、調査委員会を組織しNPO法人が事務局を担いアンケート等の調査を実施し、「除雪カルテ」として整理した上、調査委員会は行政・民生委員・自治会等と協議を行い、支援の内容・報酬等について整理する。
- 地域内での有償ボランティアの担い手の確保を目的とし、除雪ボランティア活動を試行的に実施する。

主な成果

- 高齢者世帯の除排雪を請け負う仕組みづくりに向けた調査活動を実施し、有償ボランティアの担い手を確保できた。
- 持続可能な支援組織体制づくりに向け、NPO法人の活動として、高齢者世帯の除排雪支援を活動の柱とする見直しを立てることができた。

他団体・他地域で参考になりそうなポイント

- NPO法人という枠組みとして、会員同士の支えあいを行う仕組みをつくることで、通年した有償ボランティアによる生活支援が可能となる。

活動のポイント

- 地域の課題解決の担い手として設立されたNPO法人が、除排雪困難世帯の実態調査から担い手の育成、除排雪活動の実践まで、有償除雪ボランティアを基本とした一連のスキームを組み立てる。
- 有償ボランティアと除排雪困難世帯とのつなぎ役として、NPO法人の役割を確立。

運営体制

募集・組織化/除雪支援基準の作成

アンケート調査の様子 除排雪作業の様子

地区高齢者等実態調査状況調査表

調査年月日 令和 年 月 日 調査者 _____ 自治会 _____

氏名	_____ (男・女)	昭和 年 月 日生
住所	飯豊町大字 _____ TEL _____	隣組 _____ 戸 _____
世帯の構成	単身世帯 ・ 夫婦二人暮らし その他()	同居者との関係 _____
近親者の状況	_____	

除雪状況	現 状	今後の見通し
間口除雪	主に _____	_____
家の周り	主に _____	_____
雪下ろし	主に _____	_____

除雪(有償)の希望について		
間口除雪	家の周りの除雪	雪下ろし
希望 する・しない	希望 する・しない	希望 する・しない

その他(困っていることや、不便に思っていること等何れでも)

NPO法人まちづくりいいでが 間口除雪のお手伝いを致します!

目 的	高齢者世帯等の除雪に対する負担を軽減するために、地域における支えあいの活動として除雪支援を行います。
対象の方	<input type="checkbox"/> 高齢者世帯又は自力での除雪が困難な方(身体的障害等により除雪が特に困難な場合も、ご相談に応じてご一考下さい。) <input type="checkbox"/> 会員相互の支えあいとして活動するため、支援を希望する方は「NPO会員」又は「NPO賛助会員」になっていただきます。 NPO会員 (注)正会員 (年会費2,000円) 賛助会員 (年会費1,000円)
作業内容	・高齢者世帯間口除雪(道路から玄関まで)
期 間	・令和4年1月～令和4年3月
費 用	①小型除雪機 (幅 60cm未満、10馬力未満の除雪機) [1時間あたり3,600円] 1回あたりの基本作業は20分(1,200円)とします。 30分を超過した場合は10分毎 600円 を加算します。 ②中型除雪機 (幅 60～90cm未満、10～20馬力未満の除雪機) [1時間あたり4,800円] 1回あたりの基本作業は20分(1,560円)とします。 30分を超過した場合は10分毎 780円 を加算します。 ③大型除雪機 (幅 90cm以上、20馬力以上の除雪機) [1時間あたり5,500円] 1回あたりの基本作業は30分(1,980円)とします。 30分を超過した場合は15分毎 825円 を加算します。
支払形態	・毎月2回に限り翌月15日までお支払をお願いします。(1回分の場合は、ご相談ください。)
備 考	・お支払と除雪前に現場確認等の打ち合わせを行います。(数ヶ月前頃や除雪開始前の確認のため。)

(お問い合わせ) 特定非営利活動法人 まちづくりいいで
〒999-0804 山形県西置賜郡飯豊町太平 25-15
TEL:014-877-9008
Mail: machizukuri@npo.jp

[資料：令和3年度 安心安全な雪害体制づくり取り組み事例集(国土交通省地方振興課)]

- 資料-59 -

(11) スマイル・スノー・プロジェクト

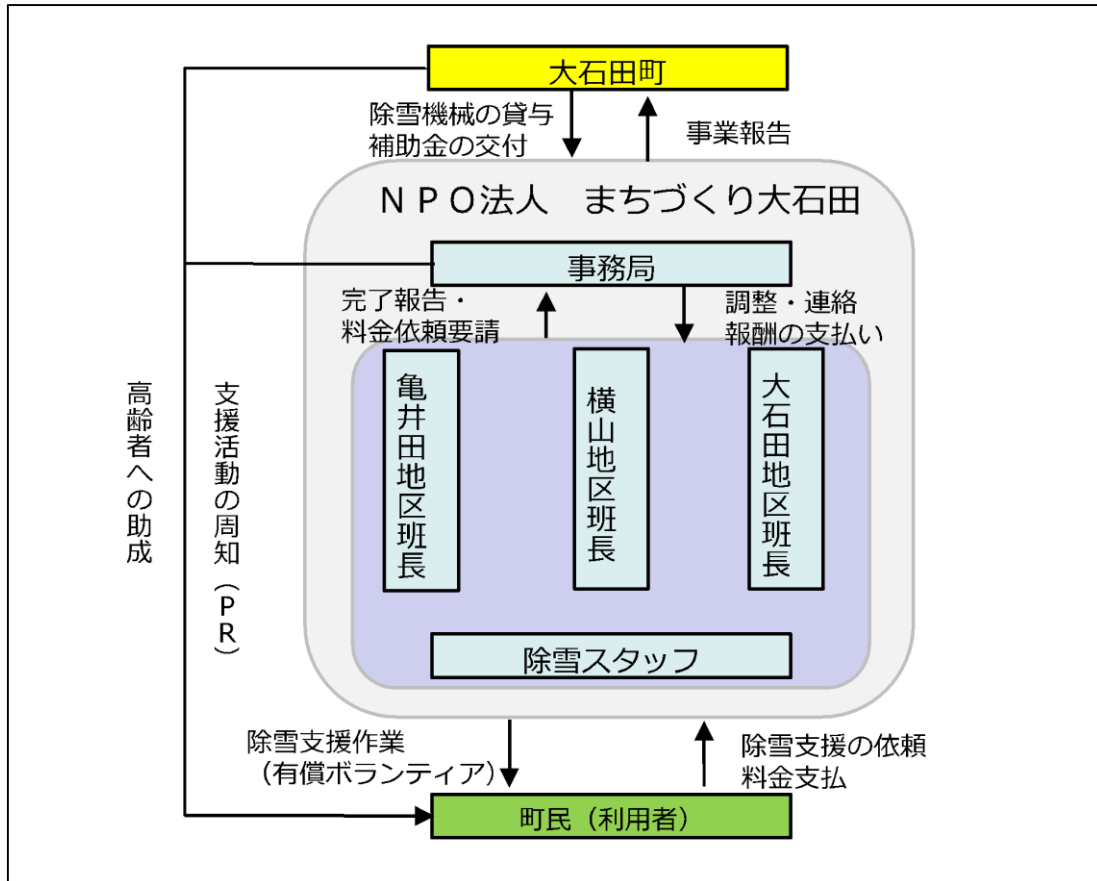
実施主体	株式会社 CAMPFIRE (山形県大蔵村)
取組概要	クラウドファンディング事業の企画・開発・運営 をしている企業が様々なプロジェクトを募集し、その支援金により行われているものです。この事例では、例年、雪の処理に困っている 山形県大蔵村 から贈るとっておきのサプライズとして、普段困っている雪を 「雪だるま」 にして販売し、売上げの一部を除雪車両の燃料費やお年寄り宅の除雪作業などへの支援にしている 企画 です。



[資料：株式会社 CAMPFIRE ホームページ (株式会社 CAMPFIRE)]

(12) 有償ボランティアによる早くて安いオンデマンド除雪

実施主体	山形県大石田町
取組概要	町では雪対策への不安から近隣自治体へ移住する住民が多く、高齢化が進行して除雪の担い手がさらに不足する状況でした。 そこで、冬期間における町民生活の支援体制を構築するとともに、雇用を創出することを目指し、NPO 法人まちづくり大石田の有償ボランティア（町民有志）が、町民からの依頼により各家庭の敷地内で短時間の除雪を行っており、各地区に在住する住民有志が作業するため、「早く」、「安く」、「うまい」と好評です。



ミニホイールローダによる除雪作業の様子



小型除雪機による除雪作業の様子

〔資料：2018年とりまとめで提示する課題と解決の方向性に係る主な関連事例（国土交通省総合計画課）〕

(13) 屋根雪下ろし命綱固定アンカーガイドブック

実施主体	新潟県土木部都市局建築住宅課
取組概要	新潟県は、屋根雪下ろしが必要な住宅等を管理・居住される方が、 適切な安全対策を実践してもらうため、ガイドブックを作成し、命綱を適切に使用するために不可欠なアンカー（命綱を住宅に締結する設備）や安全に屋根雪下ろしを行う方法などについて説明しています。

【小規模タイプ】 比較的、少ない部材を用いた小規模工事によるアンカー



軒下の母屋に金具を取り付け、ワイヤーを張る
屋根に金具を取り付け

【低支柱タイプ】 支柱の低いアンカー



屋根パイプを使用
小径パイプを使用
列状に屋根パイプを配置

【その他の使い方をするアンカー】 上記以外の使い方や併用などの併用タイプ



支柱に直接命綱を固定する
雪止め防止フェンスを兼ねる
雪止めを兼ねる

安全な雪下ろしのために
**屋根雪下ろし
命綱固定アンカー
ガイドブック（第三版）**

「命綱固定アンカー」とは、
命綱を住宅に締結するための設備です。



命綱固定アンカーガイドブック第三版（令和4年3月）
新潟県土木部都市局建築住宅課
所在地：〒950-8570 新潟県新潟市中央区新光町4番地1
TEL：025-280-5442（直通）
FAX：025-285-6840
E-MAIL：ngt160030@pref.niigata.lg.jp
URL：http://www.pref.niigata.lg.jp/jutaku/

新潟県知事政策局地域政策課
TEL：025-280-5088（直通）
E-MAIL：ngt002200@pref.niigata.lg.jp
（協力）新潟市建築組合、越後雪かき道場®
（監修）長岡技術科学大学大学院教授 上村 靖司

 **新潟県**

アンカーの設置を検討しましょう

住宅にアンカーを設置する場合、命綱を結ぶ構架材（単管パイプなど）を屋根面に固定する必要があります。

Question?
屋根にアンカーを取り付ける方法を教えてください。

アンカーの構架材として工事現場等で用いる単管パイプ（φ48.6mm）を使用する場合、屋根への固定金具として雪止め金具を流用する例が多くあります。



雪止め金具は、瓦などの屋根材の下にある野地板に固定するものが多く、設置時に金具を固定する部分の屋根材を置き替える費用が必要です。
金属屋根（瓦葺き、平葺き）の場合、屋根材を置き替えずに固定可能な雪止め金具が市販されており、設置費用を抑えることができます。
なお、両側の表面から立ち上げた腕金にワイヤーを張る「腕金ワイヤー型アンカー」（施工例：P13）の場合、屋根材の置き替えが不要です。

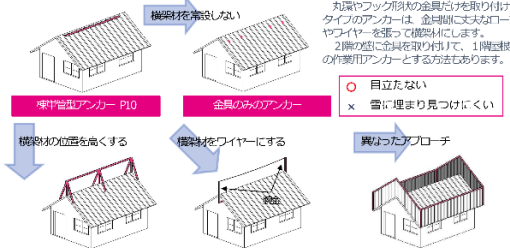
アンカー設置用金具の販売開始！
アンカー設置用金具は、工務店などが建設資材を加工して自作していましたが、令和3年に三条市の「有限会社 鈴文」から既製のアンカー設置用金具が発売されました。
今後は既製品も増えると期待されます。

Answer!
雪止め金具を流用して設置する場合がありますが、汎用性の高い専用金具の製品開発も進んでいます。

アンカーは、「命綱を結ぶ構架材の種類」、「構架材を建物に固定する位置」、「構架材の高さ」などの選択の組み合わせにより、様々な種類があります。

Question?
様々な種類のアンカーがありますが、どのように選べばよいでしょうか？

アンカーは各地の工務店などが創意工夫して設置しているため、様々な種類があります。
アンカーの種類は、それぞれのメリットとデメリットを検討して、工務店などと相談しながら決めてください。



単管パイプアンカー P10	腕金ワイヤー型アンカー P13	転部止冊 P14
○ 構架材を傷めない	○ 腕金ワイヤーにワイヤーを張る	○ 雪止め防止を兼ねる
○ 目立たない	○ 屋根材置き替えが不要	○ 工事費が高くなる
○ 雪に埋まりにくい	○ 腕金の製作が必要	
○ 揺れ止めの補強が必要		

命綱を結ぶ構架材の位置を高くすると、屋根雪下ろしの時に雪に埋まりやすくなります。構架材を高くすると、雪止めまで高くなると作業効率も高くなります。ただし、構架材の位置を高くすると、支柱が大きな力がかかるため、補強が必要になり工事費が高くなります。また、住宅の外観を損なう、と購入者もいます。

Answer!
設置するアンカーは、工務店などと相談しながら、屋根形状、使い勝手、費用、外観などから総合的に選んでください。

5 ● 雪止め金具は、水から押す（水から引く）力に対して安全です。
● 雪止め金具を利用したアンカーは、棟に設置すると有効です。 **Point**

● 降雪前からアンカーの構架材を設置したままにするとう便利です。
● ワイヤーは緩むので、使用前に張りを確認してください。 **Point** 6

〔資料：令和3年度 屋根雪下ろし命綱固定アンカーガイドブック（新潟県）〕

(14) 簡易な「命綱」、「アンカー 設置工法」

実施主体	NPO 法人中越防災フロンティア
取組概要	<p>雪国イノベーション創出は、雪国の問題解決に役立つ、新しい技術や仕組みを創出する地域除排雪の国の取組です。</p> <p>NPO 法人中越防災フロンティアでは、雪下ろし中の転落事故の防止に向けて、「越後雪かき道場」の活動の中で、実用的な命綱（安全帯とロープ）の開発及び普及に取り組んでいます。</p> <p>平成24年度から、長岡市川口木沢をモデル地区として、数件の家屋の屋根にアンカー（安全帯に結ぶロープの固定具）を設置し、安全帯の使用やアンカー設置の指導ができる人材を育成しています。</p>



「雪国イノベーション創出」事例

1. 簡易な「命綱」、「アンカー設置工法」

★ポイント

- 開発した「命綱」は安全帯とロープから構成。ホームセンターやインターネットで購入可能
- 「アンカー」は試行段階。様々な屋根形状に活用できるように4種類を試作・検討

- ・ NPO法人中越防災フロンティアでは、雪下ろし中の転落事故の防止に向けて、「越後雪かき道場」の活動の中で、**実用的な命綱（安全帯とロープ）の開発及び普及**に取り組んでいる。
- ・ 平成24年度から、長岡市川口木沢をモデル地区として、数件の家屋の屋根に**アンカー（安全帯に結ぶロープの固定具）**を設置し、**安全帯の使用やアンカー設置の指導ができる人材を育成**している。

【実施主体】 NPO法人中越防災フロンティア

【活動地域】 新潟県が中心

【取組の経緯】

- ・ 平成19年1月より開催している「越後雪かき道場」の活動の一環として、雪下ろし中の転落事故防止対策について検討・試行してきた。
- ・ 平成24年より、**民間業者と協力して安全帯を開発**し、越後雪かき道場の中級コースとして、命綱講習を本格的に始動するとともに、**長岡市川口木沢をモデル地区**として、建物の屋根上で命綱を固定するための**アンカーの設置**も進めている。

【主な取組と成果】

- ・ 民間業者と協力して、「住民が雪下ろし作業時に着用する」という点を重視した**安全帯を開発**し、平成24年より**ホームセンターにて販売**を開始した。
- ・ 平成25年には安全帯にさらに改良を加え、**実用性を大幅に向上**。インターネットで**全国どこでも購入**できるようになった。
- ・ 雪かき道場における**命綱講習の修了者**（累計）は、中級コース（安全帯の着用と実践）で103名、上級コース（安全帯を含めた安全管理の指導者講習）25名となった。
- ・ 長岡市川口木沢地区において、**4種類のアンカー**（「トタン屋根＋足場用鋼管」「棚用金具＋足場用鋼管」「トタン屋根＋ガス管」「溝型鋼＋ワイヤー」）を設置し、それぞれの有効性を検証できた。

【開発した安全帯（ホームセンターにて販売）】



【アンカーの設置】



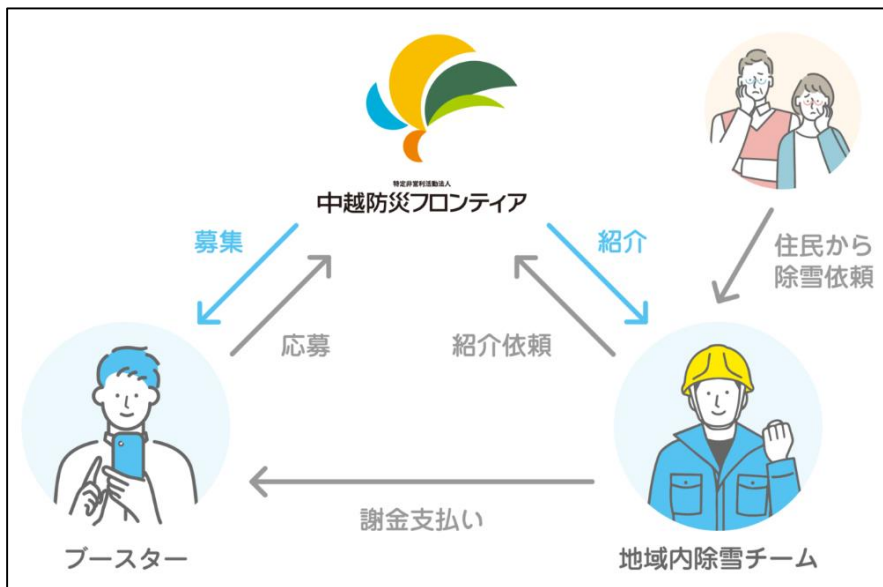
【実証検証】



〔資料：平成25年度 新たな地域除排雪の取組事例（国土交通省地方振興課）〕

(15) 有償ボランティアのマッチング及び派遣システムの運営

実施主体	NPO 法人中越防災フロンティア
取組概要	<p>有償ボランティア制度「YUBO」は、除雪の担い手不足が課題となる長岡市山古志地域と、有償の除雪ボランティアをメッセンジャーアプリ「LINE」でつなぎ、派遣するシステムです。ボランティアの登録はLINEを通じて一年中行っており、事前に除雪スキルや経験を登録することで、不安なく参加することができます。</p> <p>YUBO の特徴は、ボランティア育成講座「越後雪かき道場」で作業の注意点やコツを学ぶことができる、謝礼を支払うことでボランティアの金銭的負担と利用者の心的負担を軽減する、降雪状況に合わせて必要な時に必要な人数を派遣していること（従来のボランティアは1か月以上前に告知する計画派遣が中心）です。今後はボランティア派遣対象地域を増やして活動を行っていく予定です。</p>



〔資料：YUBO ホームページ（NPO 法人中越防災フロンティア）〕

(16) 広報誌により市民への雪の備えを促す

実施主体	福井県福井市広報課
取組概要	福井県福井市では、平成30年2月の記録的大雪により市民生活に多くの影響が出たことを教訓として、本格的な冬の到来を前に、しっかりとした雪への備えについて、広報誌(11月号)で「雪が降る前に」と「雪が降った後は」として、注意点を市民に呼び掛けています。

雪が降る前に

家庭内備蓄をしておこう

大雪に限らず、災害で電気・水道・ガスが使えない場合に備え、最低3日、できれば1週間は自力で生活できるよう、**食料や水、懐中電灯、カセットコンロ、灯油**などを備蓄しましょう。予備のボンベや電池なども忘れずに。

水道管の凍結対策をしよう

屋外に露出している水道管の凍結防止には、**保温チューブや布を巻く**のが効果的です。すでに対策済みのものに損傷がないかも含めて、事前に確認をしましょう。

絶対に路上駐車はしない

路上駐車は道幅を狭め、除雪作業に大きな支障をきたします。

大事なものに目印をつけよう

垣根など雪に埋まってしまうものは、除雪中の破損を防ぐため赤い目印をしましょう。

雪が降った後は

除雪中の事故に注意

雪下ろしは、一人ではなく、複数人で作業しましょう。作業時は、ヘルメットや命綱などの装備を整えましょう。

水道メーター周りを除雪しよう

水道管破損などによる漏水の早期発見や速やかな検針のため、水道メーター周りの除雪をお願いします。

道路や水路に雪を出さない

水路に捨てると、雪が流れをせき止め、水があふれることがあります。

地域で協力し合おう

大雪になると除雪が行き届かない場所も発生します。歩道や地域のごみステーション、消火栓、バス停周辺などの除雪について、地域ぐるみでのご協力をお願いします。

除雪のポイント

- 屋根雪が片寄っていないか
建物や物がゆがむ恐れがあります
- 屋根からの落雪が軒先まで達していないか
軒先が破損する恐れがあります
- 早めの雪下ろし
積雪が1mを超えると雪が固く締まり危険性が増します
- 雪囲いをしているか
落雪によるガラス破損防止になります

融雪のための水道水使用は控えよう

水道水の使用量が急激に増えることで、水道水の使用制限をお願いすることがあります。

[資料：平成30年11月号 市政広報ふくい(福井市広報課)]

(18) 安全な屋根雪除雪の為にアンカー設置モデル事業 (鬼無里モデルの確立)

実施主体	鬼無里地区自治協議会 (長野県長野市)
取組概要	<p>雪害救助員が安心して雪下ろし作業ができるように、支援が必要な世帯の住宅の情報を共有する「除雪住宅カルテ」を作成。屋根の特徴、雪止めやハシゴの位置、注意点などを細かく記録しています。</p> <p>安全対策の必要性を訴えるPR動画を近隣地区と共同制作し、情報番組で放映しています。また、アンカー設置宅を増やすため、地区内へ鬼無里モデルアンカーの周知、地域住民が安全帯やヘルメットなどの備品を利用しやすくする仕組みづくりを行っています。(女性限定除雪機デビュー講座・アンカー見学ツアー)。</p>

事例 7 鬼無里PRIDE PROJECT 3rd Season～鬼無里モデルの確立～

実施主体 鬼無里地区住民自治協議会
[活動地域: 長野県長野市]

自治体 長野県 長野市

人口	373,251人	(増減率: -1.2%)	※1
世帯数	156,854世帯	(増減率: +4.3%)	※1
高齢化率	27.6%	(増減: -1.1%)	
降雪率	530cm	(冬期間累計)	※2

※1令和2年国勢調査、増減率=(R2の値-H27の値)
※2最寄りの標高の1991～2020年の平均値

きっかけ

- 地区の高齢化により、屋根雪の除雪作業の事故が増加している。一方で、平成28年から担い手の育成と安全対策を目的として「雪かき道場」を開催し、地区外からの除雪ボランティアの育成や雪害救助員の安全対策、地元工務店と共同開発した鬼無里モデルのアンカーの開発等に取り組んできた。
- しかし、安全対策への地域住民の理解は底上げされてはきたが、アンカーの設置は少数世帯に留まっている。

取組内容

- 安全対策の必要性を訴えるPR動画を近隣地区と共同制作し、情報番組で放映する。
- アンカー設置宅を増やすべく、地区内へ鬼無里モデルアンカーの周知、地域住民が安全帯やヘルメットなどの備品を利用しやすくする仕組みづくりを行う(女性限定除雪機デビュー講座・アンカー見学ツアー)。
- 地域内関係者に屋根雪下ろしの危険性や安全対策の必要性への理解を促す。

主な成果

- ローカルテレビで屋根雪下ろしの安全対策動画を番組として放送。
- 近隣地区においても、屋根雪下ろし安全講習会を開催。
- アンカー見学ツアーも開催し、地区住民にとって不透明だったアンカーが、より理解される良い機会となった。
- 行政職員なども除雪支援員の屋根雪下ろし作業に同行する機会を設け、アンカー設置に関わる補助金の重要性を訴えることができた。
- 屋根雪下ろし情報誌の発行(町内の互版)

他団体・他地域で参考になりそうなポイント

- 地域主導・地域発信による屋根雪下ろし安全対策のノウハウ(「鬼無里モデルアンカー」・「除雪住宅カルテ」・安全対策の啓発動画等)

除雪状況	必ず人雪	降雪人雪	たまに人雪	まれに人雪
降雪場所	狭道	間山	住宅周り	屋根
除雪時期	日常的な除雪時			
除雪対象	日常を志向する除雪時			
担い手	地区住民	学生・企業	周辺地域	広域
活動内容	共助除雪	安全講習	会議・会合	シンポジウム
	資材整備	調査	人材確保	仕組みづくり

活動のポイント

- 安全対策の必要性を訴えるPR動画を制作し、ローカルテレビ情報番組で放映。
- アンカー設置宅を増やすべく、地区内へ「鬼無里モデルアンカー」の周知、地域住民が安全帯やヘルメットなどの備品を利用しやすくする仕組みづくりを行う(女性限定除雪機デビュー講座・アンカー見学ツアー等)。

運営体制

運営主体: 鬼無里地区住民自治協議会
担当: 雪かき道場実行委員会 (ワークショップ、講習会等の企画運営)

◆支援協力
長野市役所
鬼無里支所
市社会福祉協議会

◆鬼無里地区雪害救助員 (除雪担い手)
◆民生委員 (除排雪困難世帯の除雪依頼)

除排雪困難世帯

安全対策の見直し
普及啓発の計画立案
運営会議の開催

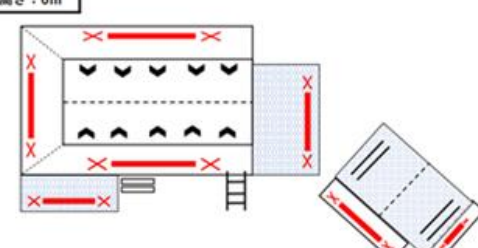
- 安全マニュアルの点検
- 安全講習会の開催 (アンカー設置WS)
- 除雪住宅カルテの作成

アンカー見学ツアーの開催
鬼無里モデルアンカーの開発

雪下ろし住宅カルテ

<p>世帯主 _____</p> <p>住所 _____</p> <p>○アンカー (有・無)</p> <p>○雪止めに関する情報</p> <p>【母屋】 大屋根 2F 軒先～雪止め: 表裏60～100センチ 特殊タイプの雪止めのため注意! 下屋にはアングルなし。</p>	<p>【物置】 雪止め無し。高さは無いが、要注意。</p> <p>【土庫】 軒先～雪止め: 表裏80～100センチ かなり高さがあり、急勾配でアングルまで距離があるので、登る際に注意が必要。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>準備する道具</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スコップ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スノーダンブ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハシゴ (6m)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>安全帯</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ロープ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他必要なもの</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	準備する道具	数量	スコップ		スノーダンブ		ハシゴ (6m)	1	安全帯		ロープ		その他必要なもの	
準備する道具	数量															
スコップ																
スノーダンブ																
ハシゴ (6m)	1															
安全帯																
ロープ																
その他必要なもの																

地上から軒先までの高さ: 6m



ハシゴ

ガスポンペ

灯油タンク

雪止め有り

雪止め無し

特殊タイプの雪止め

屋根の棟

玄関

[資料: 令和3年度 安心安全な雪下ろし体制づくり取り組み事例集 (国土交通省地方振興課)]

(19) 地域内の遊休施設を再活用した高齢者の冬期移住

実施主体	岐阜県高山市
取組概要	高山市高根地域では平成20年度より高山市社会福祉協議会が遊休施設(旧教員住宅)を活用した冬期高齢者ファミリーホーム「のくとい館」を開設しています。なお、入居者が留守中の住宅の雪下ろしは地域内外のボランティアによって行われています。

社会福祉協議会による取組事例

24 地域内の遊休施設を再活用した高齢者の冬期移住 岐阜県高山市

- 高山市高根地域では平成20年度より高山市社会福祉協議会が遊休施設(旧教員住宅)を活用した冬期高齢者ファミリーホーム「のくとい館」を開設している。
- 入居者が留守中の住宅の雪下ろしは地域内外のボランティアによって行われる。

【取組の経緯】

- 高山市社会福祉協議会の呼びかけにより高山市が遊休施設となっていた旧職員住宅の施設改修事業を実施した。
- 平成20年度より高山市社会福祉協議会が事業主体となって、「のくとい館」事業に取り組んでいる。

【主な取組と成果】

- のくとい館は12月～3月の期間に運営される高齢者ファミリーホームであり、地域の高齢者が入居して集団生活を送る。
 - 入居者には朝・夕の食事が提供される。また、入居者による地域の特産品の寒干し大根の生産及び販売を行っている。
 - 入居者が留守にする間の住宅の雪下ろしは地域の有償ボランティア(1時間1,500円)が担当しているほか、都市部の若者による除雪ボランティアを受け入れて対応している。
- <資金>
- 平成20、21年度については国交省の「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業に採択され、入居者の負担に加えて国庫補助と社会福祉協議会の一般会計予算により運営。
 - 平成22年度からは高山市より180万円の補助金を受けるとともに、平成23年度から入居者の家族からも10,000円/月の協力費を払ってもらい施設運営に充てている。

【のくとい館概要(出典:高山市社会福祉協議会資料)】

【建物概要】新築コンクリート3層建て(昇り降りは無段)

単身用 10室(7.5帖和室、3帖台所、2帖トイレ兼風呂、1帖押入)

夫婦用 4室(4.5帖和室、6帖台所×2、台所、洗面所、風呂、トイレ)

【利用期間】12月～3月の間 個々の都合で利用可能

【利用料金】単身用 12,000円/ヶ月(朝食、夕食、管理費、光熱水費込)

夫婦用 24,000円/ヶ月(朝食、夕食、管理費、光熱水費込)

【生活用品】テレビ、ストーブ、こたつ、ガスコンロ、洗濯機は備え付け

【利用条件】高根町在住の高齢者、建物内において自立生活が可能であること

【のくとい館写真】
(出典:高山市社会福祉協議会資料)



【入居者数推移】
(出典:高山市社会福祉協議会資料)

	入居者数
平成20年度	11名
平成21年度	15名
平成22年度	13名
平成23年度	11名



【今後の課題】

- 今後も継続して運営していくためには補助金の確保や、生産される特産品の販路拡大等により安定した収入を確保するなどして入居者の負担増を抑えていく必要がある。

25

■世帯用

■個室

■地元保育園児との交流会

新たに設置した階段手摺り

■寒干し大根のおまけのお手玉づくり

■地元ボランティアによる開所前の清掃

[資料:平成24年度 共助・公助による地域除雪の取組事例(国土交通省)]

(20) 安全な除雪に向けた安全用具の貸出し、講習会・ワークショップの実施

実施主体	青森県青森市
取組概要	<p>青森市における死傷事故は令和2年が55人、令和3年が65人となっており、屋根・はしご等からの転落が半数を占めていることから、青森市では安全用具の貸出し、除排雪方法の講習や、ワークショップを実施しています。</p> <p>安全用具は、市内在住の除雪ボランティア活動団体、町会、個人等を対象に、屋根雪下ろしで使用する安全用具（ヘルメット、フルハーネス、命綱、カラビナ、スコップ等）の貸出しを行っています。</p> <p>令和4年度には、雪下ろし作業に関心のある市民を対象に、実演も交え屋内・屋外での安全講習会を行いました。講師が命綱の取り付け方や、ハシゴの上り方、安全な雪下ろしの方法等の実演を行いました。</p> <p>令和5年度はワークショップを開催し、雪下ろし安全対策10箇条に関するワークショップを通して、青森市オリジナルの「除雪作業の安全テキスト」の作成を行いました。</p>



地域で除雪活動をされる皆様へ

除雪安全講習会

開催日時: 令和5年2月25日(土) 午後2時～午後4時(予定)
 開催場所: 合浦公園管理所(合浦2-17-50)
 参加対象: 雪下ろし作業に関心のある方先着20名

市内では、昨年度も雪害による人的被害が発生しています。この際、屋根の雪下ろしに必要の命綱の使い方やアンカーの接合方法等を学ぶ「除雪安全講習会」を開催いたします。
 実際に屋根雪下ろしの現場で作業される方はぜひご参加ください。

講習内容

1. 雪下ろし作業手順等について
2. 屋根上を走行した乗降装置について
3. 希望者に対し講師が補助し作業方法を教授
4. 質疑応答

お問合せ: お申込先 青森市道路維持課有向課 ☎017-752-8398

除雪作業時の安全対策普及啓発 ワークショップ開催のお知らせ

雪下ろし安全対策10箇条に関するワークショップや除雪作業時の安全対策講習会を通して、一緒に青森市オリジナルの「除雪作業の安全対策テキスト」を作成してみませんか？

日時と内容	ワークショップ開催の目的
第1回 9月10日(日) 10:00-12:00 これより約10箇条	深雪化等では、屋根の雪下ろしなどの作業が集中して発生し、多くの年には、年間1000件以上の事故が発生し、100人以上がけがや死亡などの深刻な被害を受けています。
第2回 10月21日(土) 10:00-12:00 安全講習会(講習・体験)	これに集約した現場での安全対策に関する実践的な講習を中心とした無難作業の安全対策や命綱・安全帯・ヘルメット等の安全対策用品の普及を図ることを目的としています。
第3回 11月11日(土) 10:00-12:00 よくなる10箇条	

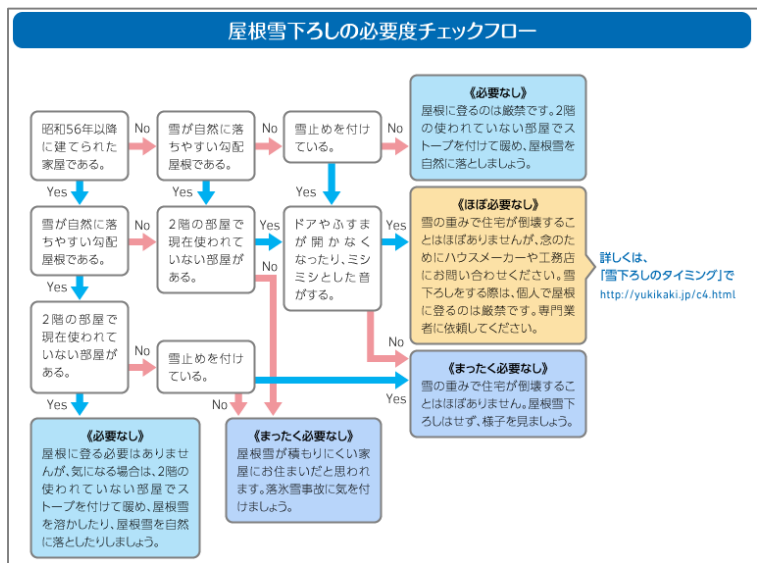
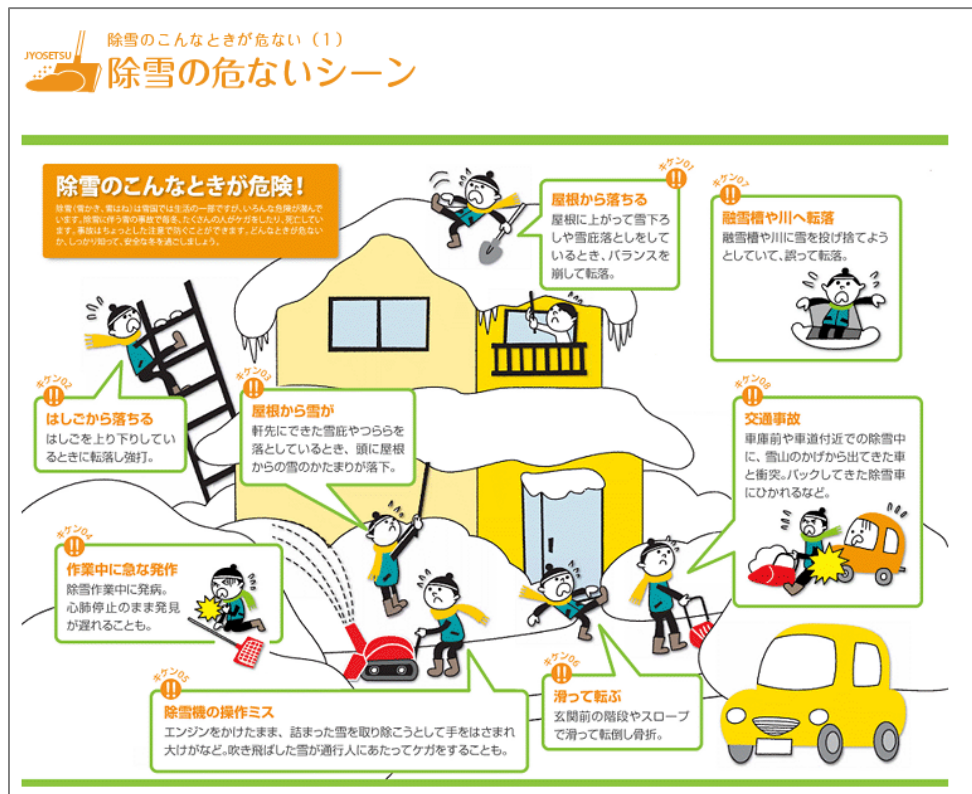
会場: 青森市役所 柳川庁舎2階大会議室
 募集人員: 30名/無料 備考: 全3回を通してテキストの内容を精査するため、全回参加が条件となります。

主催: 青森市都市整備部 道路維持課雪対策室
 お申込み/お問い合わせ: 株式会社まちづくりフォーラム
 8月31日(木)まで ☎017-742-7600 担当: 笹田

[資料: 青森市ホームページ (青森県青森市)]

(21) 雪かき情報サイト「雪かきのコツおしえます。」

実施主体	さっぽろウィンターライフ推進協議会
取組概要	<p>雪かき情報サイト「除雪のコツおしえます。」では、主に宅地で除雪作業を行う人に向けて、除雪における危険なシーンや、雪かきのコツ、雪下ろしのコツ、除雪・融雪機器の使い方等をイラストで分かりやすく紹介しています。</p> <p>北海道では「建築基準法施工細則」を定めており、札幌市の建築物は140cmの積雪までは雪下ろしを行わなくても雪の重みに耐えられるよう設計されています。基本的に雪下ろしが不要であることから、「屋根雪下ろしの必要度チェックフロー」を掲載し、雪下ろしが必要かを確認することができるようにしています。</p>



〔資料：除雪のコツおしえます。ホームページ（ウィンターライフ推進協議会）〕

(22) 2地域間における労力交換

実施主体	山形県酒田市日向地区・山形県鶴岡市三瀬地区
取組概要	<p>庄内地方は山形県の中では降雪量が少ない地域ですが、酒田市日向地区は数少ない特別豪雪地帯に指定されている地域です。その中でも特に積雪量が多い集落では過疎高齢化が進行しており、地域住民同士のみでは十分な除雪支援が難しい状況にあります。一方、鶴岡市三瀬地区の降雪量は少ないものの、除雪体制が十分ではないことから、こちらも高齢者世帯の除雪支援は欠かせない状況です。</p> <p>状況の異なる両者には、各々にボランティア組織があり、地域の課題解決の一端を担う存在となっています。両地域のボランティア組織の持つ強みを掛け合わせ、互いの弱み克服につなげるという発想から、日向地区と三瀬地区は「労力交換」を行っています。</p>



〔資料：建設コンサルタンツ協会会誌 第293号（建設コンサルタンツ協会）〕